

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)【分野2 食べる】

参考資料2

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代								
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	給食を通じた食育、親 子で楽しみながら学ぶ 機会の提供	○	○	青少年活動サポートプ ラザ青少年交流活動支 援事業 食の事業	調理、食事をきっかけに青少年同士の交流を深め、他者と協力する中で 協調性や計画性を養います。	食に関するイベント等を実施する予定 だったが、新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため、実施せず。	継続	—	—	青少年室		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	給食を通じた食育、親 子で楽しみながら学ぶ 機会の提供	○	○	青少年施設(自然体験 交流センター及び自然 の家)における給食提 供及び自炊活動	施設利用者(市内小学校、市内青少年団体等)に給食提供及び自炊活動を行 うことにより、食を通じたコミュニケーションの機会を増やし、食に関す る正しい知識を身につけます。	食の大切さを改めて見直す機会を通し て、子供たちの健やかな成長を支援す る。	継続	—	—	青少年室		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	給食を通じた食育、親 子で楽しみながら学ぶ 機会の提供	○			てがるにクック てがるにおやつ	料理やお菓子の調理の仕方や食材、食文化について学ぶとともに、自分 で料理を作る技量を身につけます。	小中学生を対象に月1回実施。(計12回)	継続	—	—	青少年クリエ イティブセン ター	
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	給食を通じた食育、親 子で楽しみながら学ぶ 機会の提供	○			小・中学生の菜園活動	畑作りから野菜の種や苗の植えつけ、水やり、収穫までの農作業を体験す ることで、農作物に感謝する気持ちを養います。	畑づくりから野菜の種や苗の植えつけ、 水やり、収穫までの農作業を実施。	継続	—	—	青少年クリエ イティブセン ター	
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む) への食に関する啓発、 講座等	○	○	地域子育て支援セン ター事業 (子育て支援事業育児 教室)	育児教室において、給食の試食や園児の給食の見学等を通して、「楽しく 食べる」「食べる意欲を育てる」「栄養バランスよく、旬を大切にしたい」 など、保育園で大切にしていることを伝え、味付け、量、調理方法など参 加者の相談を受けています。また、簡単親子クッキングに取り組んだり、「 離乳食の手引き」の配布や簡単レシピをお便りに掲載するなど情報提供 もしています。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のた め、例年通りは実施できていない。	継続	—	—	子育て政策 室		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	児童会館事業 ランチタイム	児童会館・児童センターにおいて、利用者の児童館内での飲食を可能とす ることで、農作物に感謝する気持ちを養います。さらに、「食」についての学びの 機会の提供や、「食」を通して利用者の交流を図ります。	令和4年度において、前年度の引き続 き、新型コロナウイルス感染症拡大防止 対策のため中止している。	拡充	新型コロナウイルス感染症対策 に係る一切の利用制限を撤廃。	新規利用者の拡大に向けて、児童館の 利用者を増やすための情報発信の強化を 継続して行っていく。	子育て政策 室		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	ホームページの開設 すくすく子育てNav 平成26年12月に子育 て応援サイト「すくす く」にリニューアル	子育て支援に関する情報を市民が気軽に入手できるように、これまで蓄 積されてきた地域の子ども・子育てに関する情報をライフステージ別、目 的別、地域別に分けて公開しています。その中で、子育てまめ知識のカテ ゴリーでは、離乳食の進め方とその調理方法や保育所の給食を離乳食の 初期、中期、後期、完了期、幼児期に分けて写真やレシピで掲載し、食育の 推進を図ります。	離乳食に関する記事は掲載していない。	—	—	子育て政策 室			
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	「園だより」や「給食室 コーナー」での情報提 供	「園だより」「給食室コーナー」を設け、その時期にあった食についてのコ メントや園の献立の紹介を行います。「栄養だより」の発行により、食に関 する情報を伝えます。	毎月配布する献立表や園だより、食に 関する情報や、献立表のレシピを掲載。	継続	—	—	地域支援センターの親子教室の保護者にも 情報提供を実施	杉の子学園 わかたけ園	
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	親子二世世代の減塩食生 活に向けた啓発	(R4年度～実施)イベントを通じた啓発や、家庭での実践につながる講座 等を実施予定。	・小学校給食でかきおアレンジメニュー を提供し、減塩に関する学習を実施 ・コラムや動画を作成し家庭に啓発	継続	—	—	・児童全員が食べる給食を通じた働きか け ・子供を通じた親世代への啓発	健康まちづく り室	
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	「給食だより」等での情 報提供	「給食だより」の発行や校内の掲示板等を使った情報提供を行います。	「給食だより」の発行や校内の掲示板等 を使った情報提供を行いました。	継続	—	—	保健給食室		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	0歳児クラス懇談会	0歳児クラス懇談会で保護者に対し用務員が離乳食の調理実演と試食を行 い、離乳食の作り方や進め方を学びます。	コロナ禍のため、調理実演と試食は行わ ず、離乳食の進め方や作り方を書面、レシ ピ集などで食べるよう配布。	継続	—	—	保育幼稚園 室		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	「園だより」や「栄養だ より」での情報提供	「園だより」や「栄養だより」などで食育の取り組みや朝食の大切さ、旬の 食材等の栄養や食の情報を保護者に伝えます。	栄養や食の情報を保護者に伝えます。毎 月発行配布。	継続	—	—	保育幼稚園 室		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	ホームページに 保育所の給食を公開	公立保育所等の給食献立を公開し子育て支援に関わる情報を市民が気軽 に入手できるようにします。また、産地の公開も行います。	給食献立表と産地をホームページに毎月 更新し公開。	継続	—	—	保育幼稚園 室		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	「園だより」や「給食室 コーナー」での情報提 供	「園だより」「給食室コーナー」を設け、その時期にあった食についてのコ メントや園の献立の紹介を行います。	自園に応じた内容を盛り込み毎月実施。	継続	—	—	保育幼稚園 室		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	市立小・中学校の保護 者に対する給食試食会	給食で大切にしていることや栄養についての話を通して、家庭での食につ なげます。	小学校は10回、中学校は1回試食会を 実施しました。	継続	—	—	保健給食室		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	保護者に対する学習会	保育参観等で保護者対象に乳幼児期の食事についての学習会を行い、食 の大切さや家庭での望ましい食習慣について学びます。給食の試食を行 う場合もあります。	コロナ禍のため、対面での学習会や試食 等は行わず、書面、レシピ集などを配布。	継続	—	—	保育幼稚園 室		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	新入児保護者学習会	給食をとおして、園児保護者を対象として栄養に関する学習会を行い、家 庭での望ましい食習慣について啓発します。	新入園児の保護者を対象に保護者学習 会を実施。 栄養士による個別相談を実施。	継続	—	—	杉の子学園		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	保護者調理実習	いろいろな食品を使った献立を調理することにより、家庭での食事作り に生かし、望ましい食習慣を身につけるように導きます。	コロナ禍のため未実施	継続	—	調理実習は希望する保護者が限られるた め、親子クッキングや試食時に、給食室が 配慮食の実演を行う等、全保護者が参加 しやすいように工夫	杉の子学園		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	家庭教育学級	親や家庭、地域社会のあり方を考え、より望ましい家庭教育の実現を図 ることを目的に、保護者が協力し交流しあって自主的に学習します。	自主的に学習を行う学級を17学級開 設。健康に関する講座等を計61回実施。	継続	—	—	まなびの支 援課		
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○	○	妊婦(両親)教室 (マタニティ講演会、マ タニティクッキング)	マタニティ講演会、マタニティクッキングとして妊婦等を対象に妊娠期の 栄養や食事のとり方、減塩、食のスタートとなる離乳食づくりについての 講義や調理実習を通して伝えます。また、ホームページにレシピ等を掲載。	・マタニティ講演会 実施回数 7回 参加人数 82人 ・マタニティクッキング(オンラインでの実 施) 実施回数 4回 参加者数 27人	縮小	マタニティ講演会は実施せず。マ タニティクッキングのみ開催。	母子保健課			
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む)への食 に関する啓発、講座等	○		離乳食講習会	離乳食のすすめ方について学び、健康づくりの基礎となる食習慣や生活 習慣を身につけてもらうことを目的に実施。離乳食や育児に関する相談 にも応じます。	生後5～6か月頃、生後9～11か月頃の 乳児を持つ保護者を対象にコースを分けて 実施。 実施回数 48回 参加者数 940人	継続	—	—	母子保健課		

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)(分野2 食べる)

参考資料2

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代								
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む) への食に関する啓発、 講座等	○			乳幼児健診(1歳6か月 児健診、3歳児健診) (集団健診)	幼児期の食生活で大切にしたいポイントを集団説明会で解説。パネル やフードモデル、リーフレットにより情報提供。個別の質問、相談にも応じ ます。	新型コロナウイルスの影響により集団教 育は中止。パネルやフードモデル、リーフ レットにより情報提供。個別の質問、相談 に応じる。 栄養相談件数 1歳6か月児健診:371件 3歳児健診:127件	継続	—	—	母子保健課	
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む) への食に関する啓発、 講座等	○	○		のびのび子育てプラザ 事業 (育児教室・子育て講 座)	保護者や子育て支援者向けに乳幼児の食事に関する講座を開催し、「食」 の大切さを学んでもらう機会を提供	講座実施回数 2回	継続	—	—	のびのび子 育てプラザ	
p.91	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ア 子供の食に関する体験や 学びの機会の充実	保育所、学校、地域等 での事業を通じた保 護者(妊娠期を含む) への食に関する啓発、 講座等	○	○		保護者に対する学習会	園児保護者を対象として栄養に関する学習会を行い、家庭での望ましい 食習慣について啓発します。簡単クッキングの実演や配慮食の工夫につ いて講義を行い、家庭での食事に活かしてもらいます。	給食試食会を各クラスで実施。アンケート を取り食の悩みがある保護者には個別で 対応。(杉の子学園) 給食メニューの実演、試食会を実施。家 庭での食事にいかしてもらおう、個別 相談や、配慮食の工夫を伝えた。(わかた け)	継続	—	—	杉の子学園 わかたけ園	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 イ 就労世代(高校卒業相当 から30歳頃まで)への機会 を捉えた啓発	インターネットやイベ ントの場を活用した食 に関する情報の発信		○		市内大学生に向けた健 康啓発	大学内のイントラネット等を活用し、食への興味につながる情報を、様々 な食育の視点とあわせて啓発を行う。さらにR4からは、大学生と協働し た同世代への食の取組等も検討する。	料理作りの楽しさをクックパッドの紹介 を兼ねて啓発	継続	—	学内のイントラネットやメールを活用した 情報発信。	健康まちづく り室	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 イ 就労世代(高校卒業相当 から30歳頃まで)への機会 を捉えた啓発	インターネットやイベ ントの場を活用した食 に関する情報の発信		○		市内大学生に向けた健 康啓発	大学内のイントラネット等を活用し、カンピロバクター食中毒等の食品衛 生に関する情報を発信することにより、正しい知識の普及啓発を行いま す。	6、11月に大学内のイントラネット等を活 用し、カンピロバクター食中毒予防等の 情報を発信した。	継続	—	大学と連携し、イントラネットを活用した 情報発信	衛生管理課	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	保育所や学校等での 家庭への啓発	○	○		保育所での菜園活動	園で野菜を栽培し、収穫する体験を通し、食物に対する関心を子どもや保 護者にもってもらいます。	夏野菜や秋のさつまいも、冬野菜を栽培 毎年実施	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	くらしに身近な場での 食の情報発信	○	○	○	健康情報拠点推進事業 (すいたん健康プロ ジェクト)	・市民が、生活に身近な場所から健康についての情報を得ることをきっか けとして、市民の健康に対する意識の向上、健康増進につなげることをめ ざし、民間施設及び市の公共施設等を、健康づくりに関する啓発等を行う 情報発信拠点とする。 ・商業施設において、厚生労働省「スマート・ライフ・プロジェクト」のテー マに基づいて健康啓発活動のためにフードモデルやパネルの展示による啓 発イベントを実施。また、ポスター掲示やちらしの配架、商品へのPOP表 示による常時啓発を実施。	・イオン等8店舗で3回 「乳製品」「減塩・がん検診」「野菜」 ・健都ライブラリーで2回 「がん検診受診率50%達成集中キャン ペーン」「女性の健康週間」	継続	—	スーパーマーケット等、市民が日常的に利 用する商業施設等での事業実施。	成人保健課	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	くらしに身近な場での 食の情報発信	○	○	○	食中毒等の情報発信	市報等を活用し、食中毒等の食品衛生に関する情報を発信することによ り、くらしに身近な場での正しい知識の普及啓発を行います。	6、8、11月に市報すいたに食中毒防 啓発の記事を掲載した。また、8、11月に 市のSNSを活用し、同様に食中毒予防の 啓発を行った。	継続	—	LINE、twitter等のSNSを活用した情報 発信	衛生管理課	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	保育所や学校等での 家庭への啓発	○	○		(再掲) 0歳児クラス懇談会	0歳児クラス懇談会で保護者に対し用務員が離乳食の調理実演と試食を 行い、離乳食の作り方や進め方を学びます。	コロナ禍のため、調理実演と試食は行わ ず、離乳食の進め方や作り方を書面、レシ ビ集などで学べるよう春に1回実施	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	保育所や学校等での 家庭への啓発	○	○		(再掲) ホームページに 保育所の給食を公開	公立保育所等の給食献立を公開し子育て支援に関わる情報を市民が気軽 に入手できるようにします。また、産地の公開も行います。	給食献立表と産地をホームページに毎月 更新し公開。	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	保育所や学校等での 家庭への啓発	○	○		(再掲) 幼稚園での菜園活動	園で野菜を栽培し、収穫する体験を通し、食物に対する関心を子どもや保 護者にもってもらいます。	夏野菜や秋のさつまいも、冬野菜を栽培 毎年実施	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	保育所や学校等での 家庭への啓発	○	○		(再掲) 「給食だより」等での情 報提供	「給食だより」の発行や校内の掲示板等を使った情報提供を行います。	「給食だより」の発行や校内の掲示板等 を使った情報提供を行いました。	継続	—	—	保健給食室	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	保育所や学校等での 家庭への啓発	○	○		(再掲) 市立小・中学校の保護 者に対する給食試食会	給食で大切にしていることや栄養についての話を通して、家庭での食につ なげます。	小学校は10回、中学校は1回試食会を 実施しました。	継続	—	—	保健給食室	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	保育所や学校等での 家庭への啓発	○	○		(再掲) 「園だより」や「栄養だ より」での情報提供	「園だより」や「栄養だより」などで食育の取り組みや朝食の大切さ、旬の 食材等の栄養や食の情報を保護者に伝えます。	栄養や食の情報を保護者に伝えます。毎 月発行配布。	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	保育所や学校等での 家庭への啓発	○	○		(再掲) 「園だより」や「給食室 コーナー」での情報提 供	「園だより」に「給食室コーナー」を設け、その時期にあった食についてのコ メントや園の献立の紹介を行います。「栄養だより」の発行により、食に関 する情報を伝えます。	「園だより」等でその時期にあった食につ いての情報、献立の紹介を掲載。「栄養だ より」の発行により、食に関する情報を伝 えます。	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	保育所や学校等での 家庭への啓発	○	○		(再掲) 保護者に対する学習会	保育参観等で保護者対象に乳幼児期の食事についての学習会を行い、食 の大切さや家庭での望ましい食習慣について学びます。給食の試食を行 う場合もあります。	コロナ禍のため、対面での学習会や試食 等は行わず、書面、レシビ集などを配布。	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	健診や講座等での栄 養相談や食事指導、料 理教室		○	○	各種健康診査	生活習慣病の予防・改善のために、①30歳代健康診査、②生活習慣病予 防健診、③健康長寿健診を実施しています。 自分自身の健康管理への関心をもち、生活を振り返ることで生活習慣を 改善し、生活習慣病予防につなげます。 健診受診時に受診者に配付するリーフレットや、医師による結果説明時 に、生活習慣病予防のための運動の習慣化等について指導啓発していま す。	①30歳代健康診査受診者数 1,256 人 ②生活習慣病予防健診受診者数 691 人 ③健康長寿健診 16,101人	継続	—	通年で市内協力医療機関で個別健診を 実施することで、受診しやすい体制を確立。	成人保健課	国民健康保 険課 生活福祉室
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	健診や講座等での栄 養相談や食事指導、料 理教室		○	○	特定保健指導	吹田市国保健康診査、吹田市生活習慣病予防健康診査の受診者のうち、 特定保健指導判定において「動機づけ支援」「積極的支援」と判定された 方に実施している特定保健指導において、食事指導やストレッチや筋力 等の実技を取り入れながら、メタボリックシンドローム等の生活習慣病の 予防のための運動の習慣化や、日常生活に取り入れやすい工夫等につ いて指導や相談を実施しています。	動機づけ支援利用者数 937人 積極的支援利用者数 63人	継続	—	動機づけ支援について、市内協力医療機 関で利用できる体制を確立。 積極的支援については、土曜日の利用や オンライン利用に対応。	成人保健課	

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)(分野2 食べる)

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代								
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	健診や講座等での栄養 相談や食事指導、料理 教室		○	○	特定健診フォローアッ プ事業 30歳代健診	吹田市国保健康診査受診者で特定保健指導対象外の方や、30歳代健診 受診者のうち、血圧や血糖値が高めの方に対し、受診勧奨をすとも に、食事や運動等の保健指導を実施しています。	・血圧・血糖高値者受診勧奨事業 血圧高値者 657人 血糖高値者 517人 ・糖尿病性腎症重症化予防事業 糖尿病治療中 リーフレット送付 199人 事業参加18人 糖尿病未治療 リーフレット送付 492人 ・糖尿病治療中断者支援 28人 ・30歳代健康診査フォロー事業 42人	継続	—	KDBや健康かるて(健康情報管理シス テム)でターゲットを絞り込み事業実施	成人保健課	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	健診や講座等での栄養 相談や食事指導、料理 教室		○	○	健康教育	生活習慣病予防やその他健康に関する内容で実施をする健康教室や出前 講座等において、食事についての情報提供や指導・啓発を実施している。	・市民健康教室 2回 79人 「脂質異常症」「睡眠」をテーマに実施し、 食事についても啓発。	継続	—	市や商業施設等において、ポスターを掲 示し、市民健康教室等の周知を図る。 LINEやSNSを活用した開催案内の実 施。 大学と連携した養成講座の開催について 検討。	成人保健課	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	健診や講座等での栄養 相談や食事指導、料理 教室		○	○	健康相談	健康、食事、生活習慣病に関する相談に対して、電話や面接で助言をしま す。 ①健康電話相談 ②保健栄養相談 ③出張健康相談	・健康電話相談 243日 209件 ・保健栄養相談 9件 ・出張健康相談 19回 574件	継続	—	市報すいたで事業周知	成人保健課	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	健診や講座等での栄養 相談や食事指導、料理 教室		○	○	食育講演会等	市民が主体的に生活習慣病の予防に取り組むきっかけとする講演会等 を実施します。	未実施	継続	—	—	健康まちづく り室	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	健診や講座等での栄養 相談や食事指導、料理 教室		○	○	ようこそ！料理超初心 者 ～男から男に伝える鍋 1つで昼ごはん～	男性が料理の技術を習得し、講座をとおして新たな仲間をつくることで、 地域活動に積極的に参加するきっかけとする。	男性を対象に、初心者向け料理講座を2 講座10回実施。	継続	—	公共施設へのちらしの配架やSNSを活用 した情報発信。	男女共同参 画センター	
p.92	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から) の行動を後押しする支援	フレイル予防の啓発		○	○	健康教育	生活習慣病予防や女性の健康づくり、健康教室や出前講座等において、 正しい知識の普及と健康の自己管理を促します。 ①市民健康教室 ②歯と歯ぐきの健康教室 ③地区保健活動推進事業(出前講座等)成人保健 ④がん予防及びがん検診受診の啓発キャンペーン	・市民健康教室 2回 79人 ・歯と歯ぐきの健康教室 1回 140人 ・地区保健活動推進事業(出前講座等) 8回 98人 ・がん予防及びがん検診受診の啓発キャン ペーン 9回 476人	継続	—	駅や商業施設等において、ポスターを掲 示し、市民健康教室等の周知を図る。 LINEやSNSを活用した開催案内の実 施。 大学と連携した養成講座の開催について 検討。	成人保健課	
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 エ 高齢世代の低栄養予防	低栄養予防のための 食の啓発や講座、個別 栄養指導等			○	介護予防事業 今こそ栄養教室 介護予防講演会(栄養)	普段の食生活を振り返り、バランスのよい食事について学んでもらうこと で、よりよい食生活の習慣を身につけてもらうため、管理栄養士による教 室や講演会を実施する。	今こそ栄養教室 4コース 延64人 介護予防講演会(栄養) 2回 延69人	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。 地域包括支援センターからの周知。	高齢福祉室	
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 エ 高齢世代の低栄養予防	低栄養予防のための 食の啓発や講座、個別 栄養指導等			○	包括的支援事業	普段の食生活を振り返り、バランスのよい食事について学んでもらうこと で、よりよい食生活の習慣を身につけてもらうため、保健師による講座を 実施する。	出前講座メニューに低栄養予防に関する メニューを掲載	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。 地域包括支援センターからの周知。	高齢福祉室	
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 エ 高齢世代の低栄養予防	低栄養予防のための 食の啓発や講座、個別 栄養指導等			○	高齢者への配食サービ ス 【令和4年度は事業縮 小 令和5年度末事業廃 止】	心身の機能低下などにより調理が困難な高齢者に、1日1食を希望に応じ て週1回から7回まで配食している。栄養バランスのとれた食事を提供す るとともに、訪問によって安否を確認する。【令和4年度は事業の対象者 を縮小、令和5年度末事業廃止】	事業の対象者を限定し、実施。 ・延利用者数 3,113人 ・配食数 48,873食	継続	—	高齢者を含む一般市民が広く配食を活用 できるよう、民間の配食サービス事業者 一覧表の作成、周知を継続する。	高齢福祉室	
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 エ 高齢世代の低栄養予防	低栄養予防のための 食の啓発や講座、個別 栄養指導等			○	(H28年度以降開始) 地域リハビリテーショ ン活動支援事業	高齢者の自立支援の取組を推進するため、自立支援型ケアマネジメント会 議や介護事業所への研修会を実施する。 自立支援型ケアマネジメント会議の助言者には栄養士、歯科衛生士の出 務を依頼しており、介護保険要支援認定者等のケアプランに対して、筋力 や体力アップのための栄養指導や栄養吸収のための口腔ケアの評価等 を実施することで、効果的に高齢者の自立支援と生活課題解決を図ること を支援する。	・自立支援型ケアマネジメント会議:12回 開催、270人参加 ・研修:2回実施、67人参加 ・検討事例:48事例	継続	—	自立支援型ケアマネジメント会議で周知	高齢福祉室	
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 エ 高齢世代の低栄養予防	低栄養予防のための 食の啓発や講座、個別 栄養指導等			○	保健事業と介護予防の 一体的実施 低栄養予防講座、低栄養 リスクチェックの実施	通いの場等を活用し、低栄養予防講座や低栄養リスクチェックを実施。リ スクチェックの結果、フレイルリスクが高い方にはフレイル等予防栄養相談 を紹介する。	低栄養予防講座・リスクチェック実施 27回 233人	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。 地域包括支援センターからの周知。	高齢福祉室	
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 エ 高齢世代の低栄養予防	低栄養予防のための 食の啓発や講座、個別 栄養指導等			○	保健事業と介護予防の 一体的実施 フレイル等予防栄養相 談	低栄養等のフレイルリスクが高い高齢者を対象として管理栄養士が個別 栄養相談を実施する。	フレイル等予防栄養相談 20人利用	継続	—	対象者へアプローチ 自立支援型ケアマネジメント会議で周知	高齢福祉室	成人保健課
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 オ 全世代に共通する食育の 取組	産学官民の連携による 食育の取組		○	○	健康教育	・全世代に対して、厚生労働省「スマート・ライフ・プロジェクト」のテーマに 基づいて健康啓発活動を行う。 ・民間施設及び市の公共施設等で減塩や食事バランス等をテーマに、ポス ター掲示やちらしの配架、商品へのPOP表示による常時啓発を実施。	・イオン等8店舗で3回 「乳製品」「減塩・がん検診」「野菜」 ・健都ライブラリーで2回 「がん検診受診率50%達成集中キャン ペーン」「女性の健康週間」	継続	—	スーパーマーケット等、市民が日常的に利 用する商業施設等での事業実施。	成人保健課	
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 オ 全世代に共通する食育の 取組	産学官民の連携による 食育の取組		○	○	学校給食を活用した子 供の食育	(令和4年度～)国産おと連携し、子供の頃から食塩の摂取を意識し た食生活を身につけられるよう給食を通じた食育の充実に取り組む。	・小学校給食でかるしおアレンジメニュー を提供し、減塩に関する学習を実施 ・コラムや動画を作成し家庭に啓発	継続	—	・児童全員が食べる給食を通じた働きか け ・子供を通じた親世代への啓発	健康まちづく り室	保健給食室
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 オ 全世代に共通する食育の 取組	産学官民の連携による 生活習慣病の予防 に向けた食育の取組		○	○	はつらつ元気レシピ集 の作成	高齢期のフレイル予防を目的としたレシピ集を作成。 令和2年度は市内民間事業者が製造している製品を活用したレシピを作 成。全世代が活用可能。	令和4年度末累積レシピ集配付数 395冊 令和4年度低栄養レシピチラシ配付数 6,000枚	継続	—	ホームページで周知。 イオンと連携し、チラシ配架。	高齢福祉室	健康まちづく り室 成人保健課

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)【分野2 食べる】

参考資料2

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代								
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 才 全世代に共通する食育の 取組	「食べる」以外のライフ スタイルと関連づけた 取組		○		(再掲) 家庭教育学級	親や家庭、地域社会のあり方を考え、より望ましい家庭教育の実現を図る ことを目的に、保護者が協力し交流しあって自主的に学習する。	自主的に学習を行う学級を17学級開 設。健康に関する講座等を計61回実施。	継続	—	—	まなびの支 援課	
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 才 全世代に共通する食育の 取組	簡単にできる食事づく りの知識や情報の発信	○	○	○	健康教育	全世代に対して、健康な食生活づくりに関する情報を市のホームページや LINE等のSNSを活用して発信する。	・市ホームページで「バランスの良い食 事」「減塩」「フレイル予防」に関する食生 活について掲載	継続	—	twitter等SNSを活用した情報発信を 実施。	成人保健課	
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 才 全世代に共通する食育の 取組	簡単にできる食事づく りの知識や情報の発信	○	○	○	クックパッドを活用し た食の情報発信	全世代の健康づくりに役立つ簡単料理レシピと食の情報提供を行う。	保育園や小学校の給食メニュー、健康づ くりに関するメニューのレシピを18点掲 載。	継続	—	—	健康まちづく り室	
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 才 全世代に共通する食育の 取組	簡単にできる食事づく りの知識や情報の発信	○	○	○	(再掲) はつらつ元気レシピ集 の作成	高齢期のフレイル予防を目的としたレシピ集を作成。 成人保健課や健康まちづくり室と連携して周知を図る。全世代が活用可 能。	令和4年度末累積レシピ集配付数 395冊 令和4年度低栄養レシピチラシ配付数 6,000枚	継続	—	ホームページで周知。 イオンと連携し、チラシ配架。	高齢福祉室	健康まちづく り室 成人保健課
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 才 全世代に共通する食育の 取組	非常時を想定した食品 の取扱いに関する 情報の発信	○	○	○	防災講座や防災ブック 等を活用した啓発	防災講座や防災ブック等を活用し、多めに買って使いつつ備える「ロー リングストック」や栄養を補うような備蓄を啓発している。	防災出前講座にて啓発を実施(60回)。	継続	—	—	危機管理室	
p.93	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(1)ライフステージに応じた 食育の取組 才 全世代に共通する食育の 取組	非常時を想定した食品 の取扱いに関する 情報の発信	○	○	○	非常時も含めた食生活 に関する情報発信	(R4年度～実施)食に関する啓発の機会を利用し、普段の食生活の中で 工夫できる食品の使い方等を情報として取り入れる機会をつくる。	未実施	継続	—	—	健康まちづく り室	
p.94	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(2)食環境の整備	健康づくりに取り組む 店を増やすための取 組	○	○	○	健康づくり応援団の店 の普及推進	外食や中食の利用時にも健康的な食の選択ができるよう、飲食店やスー パー等と連携し環境を整備する。	店舗訪問を実施し4店舗を新規登録	継続	—	—	健康まちづく り室	
p.94	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(2)食環境の整備	事業者と連携した健康 的な食の選択につな がるアプローチ	○	○	○	事業者と連携した健康 的な食の選択につな がるアプローチ	健康的な食生活の実践につながる効果的な啓発を実施する。	イオン、フレンドマートで、国循との共同 研究に関するレシピの配布及び減塩啓発 動画を配信。	継続	—	生活に身近なスーパーを通じて啓発	健康まちづく り室	
p.94	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(2)食環境の整備	給食施設での利用者 の特性に応じた食事 の提供と食育の実施 に向けた助言・指導	○			保育所等における給食	給食を実施し、子どもの健全な発育を補助し、基本的な生活習慣を身に つけさせるとともに、保護者に対しては幼児期の食事内容を理解してもら い、望ましい食習慣について啓発する。自園給食によって、食材に触れ、 匂いを感じ、温かくおいしいものを食べられるなど子どもの五感を育てる 給食となっています。	園児や、コアラ親子療育教室で適切な形 状での給食を専門職と連携して提供。食 事場面を意識できるような流れの工夫と 子に合わせた食具を提供。	継続	—	—	地域支援セン ター 杉の子学園 わかたけ園	
p.94	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(2)食環境の整備	給食施設での利用者 の特性に応じた食事 の提供と食育の実施 に向けた助言・指導	○	○	○	特定給食施設指導	給食施設において、利用者の特性に応じた食事の提供や食育が実施され るよう助言・指導を実施する。	・個別指導6件 ・集団指導(オンライン)1回実施	継続	—	施設利用者の食事を通じた働きかけ	健康まちづく り室	
p.94	2食べる	1おいしく楽しく、 バランスよく食べる	(2)食環境の整備	給食施設での利用者 の特性に応じた食事 の提供と食育の実施 に向けた助言・指導	○			保育所等における給食	給食を実施し、子どもの健全な発育を補助し、基本的な生活習慣を身に つけさせるとともに、保護者に対しては幼児期の食事内容を理解してもら い、望ましい食習慣について啓発する。自園給食によって、食材に触れ、 匂いを感じ、温かくおいしいものを食べられるなど子どもの五感を育てる 給食となっています。	コロナ禍のため、給食はしっかりと咀嚼し 味わいながら黙食をしました。毎日実施。	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○	○		親子でつくるう！楽し く食育講座(自然体験 交流センター)	幼児とその保護者を対象に、旬の食材などを使った炊事体験を通して、食 べ物について考える機会を提供。	春の野遊び「野草のたぐらづくりと羽 釜で銀シャリを炊こう」を実施。家族を 対象に、旬の自然食材を使った炊事 体験を通して、食べ物について考 える機会を提供した。	継続	—	—	青少年室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○	○	○	自然体験活動・環境教 育事業(自然体験交流 センター及び自然の 家)	小学生、親子、家族などを対象としたキャンプ事業等を実施し、野外での 炊事活動を通じて、コミュニケーションの機会を増やし、望ましい食習慣を 学ぶ機会を提供。	こどもエコクラブでは自ら畑を耕し、野菜 を育てました。収穫体験も思い食 べ物への感謝の気持ち、大切に食 事をする意識を育てた。 また、新規事業として「ひとり親 家庭のファミリーキャンプ」を 実施し、野外自炊など家族で協 力をしなければならぬ活動を通 じて親子関係を深める機会を提 供した。	継続	—	—	青少年室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○			クッキング保育	生活器具を道具として使いこなし、作ることを楽しみながら出来あがるこ とに期待し、後の保育につなげていく。	コロナ禍のためクッキング保育は中止。 (地域支援センター) 年度後半、衛生管理を徹底したう えでクッキング保育を実施。(杉の 子学園)4、5歳クラスのみクック キング保育を実施。(わかたけ)	継続	—	親子で、食 材や、器具 に触れ、ク ッキングを 楽しむ。香 りや味を 楽しむ。次 の保育につ なげる。	杉の子学園 わかたけ園 地域支援セ ンター	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○	○	○	食を支える社会や環 境を守る	「健康の視点」と「持続可能な食を守る視点」の総合的な働きかけを行う。	健康すいた21で目指す姿について、6 月の食育月間に市報・HP、SNSで 紹介。	継続	—	—	健康まちづく り室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○			学校給食の地産地消	吹田市内で収穫された農産物を給食 に取り入れることで、食と農につ いて学ぶ一助とする。	吹田市産のタマネギを使用した給食 を5小学校で3回実施	継続	—	—	保健給食室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○			「吹田市立幼稚園・小 ・中学校における食育 月間」の実施	幼小中連携で食育月間を実施。 ①食育月間キャッチフレーズ募集 (小・中学校) ②食育月間絵画募集(幼稚園) ③食育の授業実施 ④小学校の給食体験(公立幼稚園の 一部) ⑤食育に関する研修会の実施 ⑥PTAと協力して食育の取組を 実施	①応募数 14,249点 ②応募無し ③実施数 全54校 ④・⑥ 小学校での給食試食会 10 回 中学校での給食試食会 1回	継続	—	—	保健給食室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○	○	○	青少年施設(自然体験 交流センター及び自然 の家)における給食提 供及び自炊活動	施設利用者(市内小学校、市内青少 年団体等)に給食提供及び自炊活 動を行うことにより、食を通じた コミュニケーションの機会を増や し、食に関する正しい知識を身に つける。	食の大切さを改めて見直す機会を 提供し、子供たちの健やかな成長 を支援することができた。	継続	—	—	青少年室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○			保育所、幼稚園等 での菜園活動 クッキング保育	園で野菜を栽培し、収穫する体験 を通し、食物に対する関心を子 どもや保護者にもってもらう。	指定管理者が勤労者向けにプール 教室やヨガやピラティスなどを 実施。	継続	—	—	保育幼稚園 室	

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)【分野2 食べる】

参考資料2

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代								
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○	○		(再掲) 妊婦(両親)教室 (マタニティ講演会、マ タニティクッキング) (再掲)	マタニティ講演会、マタニティクッキングとして妊婦等を対象に妊娠期の 栄養や食事のとり方、減塩、食のスタートとなる離乳食づくりについての 講義や調理実習を通して伝えます。また、ホームページにレシピ等を掲載。 (再掲)	・マタニティ講演会 実施回数 7回 参加人数 82人 ・マタニティクッキング(オンラインでの実 施) 実施回数 4回 参加者数 27人	縮小	マタニティ講演会は実施せず。マ タニティクッキングのみ開催。	—	母子保健課	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○			(再掲) 離乳食講習会	離乳食のすすめ方について学び、健康づくりの基礎となる食習慣や生活 習慣を身につけてもらうことを目的に実施。離乳食や育児に関する相談 にも応じる。	生後5~6か月頃、生後9~11か月頃の 乳児を持つ保護者を対象にコースを分け て実施。 実施回数 48回 参加者数 940人	継続	—	—	母子保健課	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○	○		(再掲) のびのび子育てプラザ 事業 (育児教室・子育て講 座)	東山田育児教室の中で、保護者に分かりやすく解説した「離乳食の手引 き」を配布するとともに、公立保育園と連携して保育園の離乳食の試食を 実施して乳児からの食の大切さを学ぶ機会にしている。 のびのび子育てプラザでは保護者や子育て支援者向けに乳幼児の食事に 関する講座を開催し、「食」の大切さを学んでもらう機会を提供している。	講座実施回数 2回	継続	—	—	のびのび子 育てプラザ	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○	○		(再掲) 地域子育て支援セン ター事業 (子育て支援事業育児 教室)	育児教室において、給食の試食や園児の給食の見学等を通して、「楽しく 食べる」「食べる意欲を育てる」「栄養バランスよく、旬を大切に献立 など、保育園で大切にしていることを伝え、味付け、量、調理方法など参 加者の相談を受けている。また、簡単親子クッキングに取り組んだり、「離 乳食の手引き」の配布や簡単レシピをお便りに掲載するなど情報提供もし ている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のた め、例年通りは実施できていない。	継続	—	—	子育て政策 室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○			(再掲) 小・中学生の菜園活動	畑づくりから野菜の種や苗の植えつけ、水やり、収穫までの農作業を体験す ることで、農作物に感謝する気持ちを養う。	畑づくりから野菜の種や苗の植えつけ、 水やり、収穫までの農作業を実施。	継続	—	—	青少年クリ エティブセン ター	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等		○		(再掲) 市立小・中学校の保護 者に対する給食試食会	給食で大切にしていることや栄養についての話を通して、家庭での食につ なげる。	小学校は10回、中学校は1回試食会を実 施しました。	継続	—	—	保健給食室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	保育所、学校、地域等 での菜園活動や食文 化の学び、料理体験等	○	○		(再掲) 青少年活動サポート プラザ青少年交流活動支 援事業 食の事業	調理、食事をきっかけに青少年同士の交流を深め、他者と協力する中で 協調性や計画性を養う。	食に関するイベント等を実施する予定 だったが、新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため、実施せず。	継続	—	—	青少年室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	食品ロス削減のため の取組	○	○	○	フードドライブ	家庭で余っている食品を集め、子供食堂や福祉団体等に寄附している。	お中元・お歳暮の時期に実施。食品 1,646個(1,415.63kg)の提供を受け た。	拡充	受付場所を1か所追加	—	環境政策室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	農作物特産品栽培奨 励、地産地消の推進、 農作業体験の実施	○	○	○	地産地消の推進事業	①身近で新鮮・安全な農産物を求める消費者と生産者の交流を図るた め、朝市などの市内農産物の即売事業を実施。 ②うるち米の玄米による品評会を開催するとともに、大阪工コ農産物推 進等を実施。	①江坂朝市、ハピスマ朝市、建都ライブラ リー周年記念イベント及びInforestす いた「農業フェア」への出展を合計15回開 催 ②農作物品評会を11月18日に開催(出 品数:23品)	継続	—	—	地域経済振 興室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	農作物特産品栽培奨 励、地産地消の推進、 農作業体験の実施	○	○	○	農作業体験事業	参加者(市民)が水稻、さつまいもなどの農作物の作付から収穫までの農 作業を体験し、農業と食の大切さに対する理解を深める。	感染症対策を行ったうえで参加者数を少 なくし、3年ぶりに実施した。 参加者:登録 58名(17家族) 出席 267名(延べ)	継続	—	—	地域経済振 興室	
p.95	2食べる	2食べることを大切に する意識を持つ	(1)食べることを大切にす る意識を育てる	農作物特産品栽培奨 励、地産地消の推進、 農作業体験の実施		○	○	農作物特産品栽培奨 励事業	「吹田くわい」の栽培農家に助成金を交付するとともに、収穫作業等を支 援するボランティアを派遣することにより、その栽培を奨励する。	農家数:4件 栽培面積:930㎡ 出荷数量:122.2kg ボランティア:登録者 19名 作業参加 15名(延べ)	継続	—	—	地域経済振 興室	

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)【分野3 動く・出かける】

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代								
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(1)日常生活で体を動かすことの大切さについての啓発	日常生活で身近な場での情報発信	○	○	○	健康情報拠点推進事業(すいたん健康プロジェクト)	市民が、生活に身近な場所から健康についての情報を得ることをきっかけとして、市民の健康に対する意識の向上、健康増進につなげることをめざし、民間施設及び市の公共施設等を、健康づくりに関する啓発等を行う情報発信拠点とする。	健康情報拠点推進事業で運動に特化した取組の実施なし。リーフレットに運動に関する内容を記載し、成人保健課事業対象者に配布する等活用した。	継続	—	健康情報拠点推進事業は、スーパーマーケット等、市民が日常的に利用する商業施設等での事業実施。	成人保健課	
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(1)日常生活で体を動かすことの大切さについての啓発	日常生活で身近な場での情報発信	○	○	○	市ホームページでの運動啓発情報の配信	市ホームページにおいて、スポーツ庁や他室課が発信している運動啓発情報の提供。	吹田市HP内に、運動サポートリンク編を作成し、情報を提供。	継続	—	—	文化スポーツ推進室	
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(1)日常生活で体を動かすことの大切さについての啓発	健康教室や健康診査、保健指導の場等を活用した情報提供		○	○	吹田市国保健康診査	糖尿病等の生活習慣病については、若い時からの生活習慣を改善することで、その予防、重症化や合併症を避けることができると考えており、生活習慣を見直すための手段として、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健康診査を実施。	・市ホームページ、市報で啓発 ・窓口、医療機関にポスター掲示 ・未受診者勧奨を実施(11月に勧奨はがきの送付、2月にオートコールによる勧奨を実施) ・フレイル等予防講演会で健診について案内(9月、3月の2回実施)	継続	—	過去5年間の健診受診歴の有無や年齢、通院歴などから、健康無関心層と思われる方を含む対象者に対して勧奨を行う。	国民健康保険課	
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(1)日常生活で体を動かすことの大切さについての啓発	健康教室や健康診査、保健指導の場等を活用した情報提供		○	○	各種健康診査	生活習慣病の予防・改善のために、①30歳代健康診査、②生活習慣病予防健診、③健康長寿健診を実施。自分自身の健康管理への関心をもち、生活を振り返ることで生活習慣を改善し、生活習慣病予防につなげる。健診受診時に受診者に配付するリーフレットや、医師による結果説明時に、生活習慣病予防のための運動の習慣化等について指導啓発を実施。	①30歳代健康診査受診者数 1,256人 ②生活習慣病予防健診受診者数 691人 ③健康長寿健診 16,101人	継続	—	通年で市内協力医療機関で個別健診として実施することで、受診しやすい体制を確立。知っておきたい健(検)診を作成して全戸配布し、健康無関心層を含めて事業周知を実施。	成人保健課	
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(1)日常生活で体を動かすことの大切さについての啓発	健康教室や健康診査、保健指導の場等を活用した情報提供		○	○	特定保健指導	吹田市国保健康診査、吹田市生活習慣病予防健康診査の受診者のうち、特定保健指導判定において「動機づけ支援」「積極的支援」と判定された方に実施している特定保健指導において、ストレッチや筋トレ等の実技を取り入れながら、メタボリックシンドローム等の生活習慣病の予防のための運動の習慣化や、日常生活に取り入れやすい工夫等について指導や相談を実施。	動機づけ支援利用者数 937人 積極的支援利用者数 63人	継続	—	動機づけ支援について、市内協力医療機関で利用できる体制を確立。積極的支援については、土曜日の利用やオンライン利用に対応。	成人保健課	
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(1)日常生活で体を動かすことの大切さについての啓発	健康教室や健康診査、保健指導の場等を活用した情報提供		○	○	自宅de介護予防(日常生活編)の普及	はつらつ元気手帳に自宅de介護予防(日常生活編)を挟み込み、家事が身体活動であることや、毎日より10分多く運動することを啓発。	はつらつ元気手帳配付数 1,539冊	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。地域包括支援センターからの周知。	高齢福祉室	
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(2)自然と体を動かすことにつながるハード面の整備	バリアフリーの推進	○	○	○	交通バリアフリー化整備補助事業	補助金の交付により公共交通事業者等が行うバリアフリー化設備等の整備を促進し、高齢者、障がい者等が公共交通機関を利用して移動する際の利便性と安全性の向上を図る。	・既存バス停のベンチ設置に対する補助。 ・可動式ホーム柵整備に対する補助。	継続	—	—	総務交通室	
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(2)自然と体を動かすことにつながるハード面の整備	バリアフリーの推進	○	○	○	交通バリアフリー推進事業	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」による基本構想に基づき実施している特定事業の進捗等の確認(スパイラルアップ)及び心のバリアフリーの促進を図る。	・特定経路等のバリアフリー化整備について、95.0%の整備が完了した。 ・バリアフリー懇談会を実施し、特定事業の進捗確認を行った。	継続	—	—	総務交通室	
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(2)自然と体を動かすことにつながるハード面の整備	バリアフリーの推進	○	○	○	重度障がい者住宅改造成成事業	重度障がい者等の日常生活の利便を図るため、住宅改造成費を助成。助成限度額500,000円(所得制限あり)	重度障がい者等の日常生活の利便を図るため、住宅改造成費を助成する。令和4年度助成件数 5件	継続	—	—	障がい福祉室	
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(2)自然と体を動かすことにつながるハード面の整備	バリアフリーの推進	○	○	○	障がい者等移動支援事業	屋外での移動が困難な障がい者(児)の社会生活上必要不可欠な外出や、社会参加のための外出の際の支援を行う事業所を利用する障がい者(児)に対し、移動支援費を支給。	屋外での移動が困難な障がい者(児)の社会生活上必要不可欠な外出や、社会参加のための外出の際の支援を行う事業所を利用する障がい者(児)に対し、移動支援費を支給する。令和3年度利用者数 983人	継続	—	—	障がい福祉室	
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(2)自然と体を動かすことにつながるハード面の整備	健康遊具等を含めた市内公園の管理	○	○	○	公園への健康遊具の設置	健康医療のまちづくりに沿った、市民自らが予防医療を実践し、健康増進の場となるために健康遊具の設置に努める。	公園再整備に合わせて健康遊具を設置	継続	—	—	公園みどり室	
p.102	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(2)自然と体を動かすことにつながるハード面の整備	健都レールサイド公園の管理	○	○	○	健都レールサイド公園の管理	指定管理者による健都レールサイド公園の管理	指定管理者による健都レールサイド公園の管理	継続	—	—	公園みどり室	健康まちづくり室
p.103	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(3)出かけたくなる魅力あふれる場の創出	市民が出かけたくなる魅力あふれる場づくり	○	○	○	①吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)の店舗における各種フェア開催、公式LINEアカウントやSNS等でのまちの情報発信 ②阪急沿線観光あるき(まち歩き)	①ららぽーとエキスポシティ内にあるInforestすいたにおいて、月替わりで各種フェアを開催し、吹田の魅力や体験・体感できる場を設けています。また、Inforestすいたの公式LINEアカウントやSNSで出かけるきっかけになるようなまちの情報を発信。 ②阪急電鉄株式会社の主導する「阪急沿線観光あるき」に参画し、市内のコースを巡るガイドツアーを実施。また、ウォーキングアプリを活用してまち歩きを楽しむこともできる。	①Inforestすいた実施フェア ガンバとすいたフェア すいたの友好都市フェア フェア他 ②阪急沿線観光あるき ガイドツアー 2回実施 1千里山・関西大学コース 2三色彩道・水辺コース 3南千里・遊歩道コース	継続	—	行政だけの取組にとどまらず活動領域を拡大 →くらしにとけこむ場での啓発	シティプロモーション推進室	
p.103	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(3)出かけたくなる魅力あふれる場の創出	市民が出かけたくなる魅力あふれる場づくり	○	○	○	地域スポーツの促進	地域スポーツの推進や、市民の健康増進を図るため、ニュースポーツをはじめとした各種スポーツ行事を開催	各地区(35地区)において、スポーツ行事を開催 参加者数 13,837人 253回実施	継続	—	—	文化スポーツ推進室	
p.103	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(3)出かけたくなる魅力あふれる場の創出	市民が出かけたくなる魅力あふれる場づくり	○	○	○	健康づくり活動推進事業	市民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援できるよう、健康啓発イベントや講習会を(公財)吹田市健康づくり推進事業団と実施します。	「2022チャレンジDAY」を千里北公園一帯で開催。延べ参加人数7,504人。	継続	—	—	健康まちづくり室	
p.103	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(3)出かけたくなる魅力あふれる場の創出	市民が出かけたくなる魅力あふれる場づくり	○	○	○	健都レールサイド公園及び健都ライブラリー指定管理事業	健康増進事業、利用促進事業として多様なプログラムの提供を行った。	健康増進事業として運動プログラムを年間700回以上、利用促進事業として様々な講座を年間300回以上行った。また、講座の中には地域包括支援センター等の地域団体の方と連携して認知症予防の講座等を行ったものもあり、健都内で運動教室を行っている企業や薬局等とイベント開催時に連携した取組も行った。	継続	—	健都レールサイド公園と健都ライブラリーは、健康に「気づき」、「楽しみ」ながら「学べる」を3つの柱として整備しており、強度の異なる複数の運動プログラムや生涯学習講座などを多数実施している。	健康まちづくり室	公園みどり室 健都ライブラリー
p.103	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(3)出かけたくなる魅力あふれる場の創出	市民が出かけたくなる魅力あふれる場づくり			○	介護予防事業 ひろばde体操	市民に身近な公園や商業施設を活用し、日常生活の中で継続して運動に取り組みすることができる環境づくりを行う。	ひろばde体操 市内21会場 公園 18会場 商業施設等 3会場	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。地域包括支援センターからの周知。	高齢福祉室	

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)[分野3 動く・出かける]

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ												
掲載ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世代	就労世代	高齢世代	事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	取組室課	関係室課		
p.103	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(3)出かけたくなる魅力あふれる場の創出	市民が出かけたくなる魅力あふれる場づくり	○	○	○	千里山駅周辺整備事業 都市計画道路千里丘朝日が丘線道路新設事業 佐井寺西土地区画整理事業 上の川周辺整備事業	各事業を実施することにより、沿道景観の向上、歩行の安全性・快適性の確保による「まちあるき」の促進を図ります。 なお、佐井寺西地区においては、土地区画整理の手法により歩道のある都市計画道路2路線及び4公園を主な公共施設とする安心、安全なまちづくりを整備することで、日常的な歩行及び都市計画道路沿道利用による新たなにぎわいを創出します。	令和4年度は以下の内容に取り組みました。 ・構造物予備設計及び墓地移転検討業務 ・区画整理調査業務 ・環境影響評価業務 ・踏切改良設計業務を実施 など	継続	—	—	地域整備推進室			
p.103	3動く・出かける	1日常生活で体を動かす	(3)出かけたくなる魅力あふれる場の創出	市民が出かけたくなる魅力あふれる場づくり	○	○	○	図書館主催事業	健康医療講座や、知的好奇心を刺激する学びの講座、生活に役立つ講座を通じ、図書館に足を運ぶきっかけとしてもらう。	・健康医療講座「おしりのはなし(大阪府済生会千里病院協力)」、「脳・脊髄・神経の健康を守る！」(吹田市民病院共催)」を実施。 ・秋に毎年恒例の「図書館講座じゅずつなぎ」を実施し、高齢者を含め多くの方に参加いただいた。 ・健都ライブラリーにおいて、指定管理者を中心に、定期的、継続的で多種多様なプログラムの提供を実施。	継続	—	—	中央図書館			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ア 次世代	親子と一緒にできる運動の場・機会の提供	○	○		児童会館・児童センターでの運動行事	幼児とその保護者を対象とした親子体操や親子ヨガ等他、小学生を対象とした一輪車教室や逆上りの指導等を実施。	令和4年度において、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため一部開催規模を縮小して実施した。	拡充	新型コロナウイルス感染症対策に係る一切の利用制限を撤廃。	新規利用者の拡大に向けて、児童館の利用者を増やすための情報発信の強化を継続して行っていく。	子育て政策室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ア 次世代	保育所・幼稚園や小・中学校等での運動の場・機会の提供	○			親子教室、交流会	生後2か月の乳児から就学前の幼児まで、それぞれの子どもが興味・関心を持って楽しく遊べるように、館内の設備や遊具を整備。	新型コロナウイルスの感染症拡大防止の対策を取りながら、児童が楽しんで遊べるように、館内の設備や遊具の配置を工夫した(常時)	継続	—	—	のびのび子育てプラザ			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ア 次世代	保育所・幼稚園や小・中学校等での運動の場・機会の提供	○			身体づくりの取組	身体を動かして遊ぶことが心地よくなるように日常的に身体を使った遊びを取り組む。	日常的に身体を使った遊びを取り組む	継続	—	—	保育幼稚園室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ア 次世代	課外活動などでの運動の場・機会の提供	○	○	○	学校体育施設開放事業	①市内小中学校の体育施設(体育館・運動場)の開放 ②中学校運動場ナイター施設の開放	利用件数(参加者数) ①18,088件(391,767人) ②585件(13,054人)	継続	—	—	文化スポーツ推進室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ア 次世代	課外活動などでの運動の場・機会の提供	○			部活動活性化支援事業	中学校では、いろいろな部活動で運動に親ませ、心身の成長をうながす。日々の活動で運動の習慣形成につなげる。	専門的な指導を可能にするため、外部指導員の配置を行った。	継続	—	運動することは、生活習慣病の予防だけでなく、運動の楽しさやストレス解消、生活のリズムを整えるなど、生活の質の向上にも効果がある。生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養っていく。	学校教育室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	・自分ができる運動の動画やちらし等を活用した周知啓発 ・相談や保健指導の場等を活用した情報提供	○	○	○	30歳代健診特定健診フォローアップ事業 健康情報拠点推進事業	資料を用いて、若い頃から運動習慣を持つことやフレイル予防の啓発を実施。また、吹田市国保健康診査受診者で特定保健指導対象外の方や、30歳代健診受診者のうち、血圧や血糖値が高めの方に対し、受診勧奨をするとともに、食事や運動等の保健指導を実施。	フレイル予防のリーフレットに運動に関する内容を掲載し、国保ヘルスアップ事業対象者や、30歳代健診フォロー事業対象者へ送付。	継続	—	—	成人保健課	国民健康保険課		
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	自分ができる運動の動画やちらし等を活用した周知啓発	○	○	○	勤労者会館自主事業	勤労者会館(アスワーク吹田)で実施されているプール教室や卓球、ヨガやピラティスなどを実施。その周知を地域経済振興室で実施している。	指定管理者が勤労者向けにプール教室やヨガやピラティスなどを実施。	継続	—	—	地域経済振興室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	自分ができる運動の動画やちらし等を活用した周知啓発	○	○	○	市ホームページでの動画コンテンツの配信	自宅でする運動等、動画コンテンツの配信し、運動のきっかけづくりを図る。	ノルディックウォーキングの動画を配信。	継続	—	—	文化スポーツ推進室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	各種運動教室やイベントの実施	○	○	○	運動習慣化の促進	健康寿命の延伸を図るうえで、運動を継続することは重要なので運動を習慣化するきっかけづくりを目的とし、運動に関する講座を実施	市民スポーツ講座「運動はええよ!」の開催 参加者数25人 1回実施	継続	—	—	文化スポーツ推進室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	各種運動教室やイベントの実施	○	○	○	各種スポーツ教室の開催	健康づくりを目的とした教室から競技別の教室まで、幼児から高齢者までを対象に、誰もが参加できる教室を実施。	回答なし	継続	—	—	文化スポーツ推進室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	各種運動教室やイベントの実施	○	○	○	吹田市障がい者体育祭(北千里体育館)	障がい者が体育祭を通じ、身体を動かすことの喜びを感じることで、障がい者の健康維持・増進や意欲の向上に役立てる。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	継続	—	—	文化スポーツ推進室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	各種運動教室やイベントの実施	○	○	○	地域スポーツの促進	地域スポーツの促進を図るため、吹田市民を対象にニュースポーツをはじめとした各種スポーツ行事を開催し、市民の健康の増進を図るとともに明るい市民社会の形成を目指す。 ※各地区体育振興(協議)会に委託	各地区(35地区)において、スポーツ行事を開催 参加者数 13,837人 253回実施	継続	—	—	文化スポーツ推進室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	各種運動教室やイベントの実施	○	○	○	運動講座	市内図書館において来館者が気軽に参加できる講座を実施。	・健都ライブラリーにおいて、指定管理者を中心に、定期的、継続的で多種多様なプログラムの提供を実施。	継続	—	—	中央図書館			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	各種運動教室やイベントの実施	○	○	○	すいた笑顔(スマイル)体操の普及	スポーツ教室、公民館講座、市民体育祭、高齢者スポーツ大会、障がい者体育祭他、準備体操として実施。また、職員健康管理の観点から運動へのきっかけづくりをするため、職場で昼休みに実施。	スポーツ教室等で実施 職場体操については、本庁低層棟3階で昼休みに実施。	継続	—	—	文化スポーツ推進室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	相談や保健指導の場等を活用した情報提供	○	○	○	健康教育	生活習慣病予防やその他健康に関する内容で実施をする健康教育や出前講座等において、身体活動量の増加や生活習慣病予防のための運動の習慣化等について、体育施設等についての情報や日常生活に運動を取り入れる工夫等、実技も入れながら普及啓発の実施。	・市民健康教室 2回 79人 「脂質異常症」「睡眠」をテーマに実施し、運動についても啓発。	継続	—	駅や商業施設等において、ポスターを掲示し、市民健康教室等の周知を図る。LINEやSNSを活用した開催案内の実施。	成人保健課			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	相談や保健指導の場等を活用した情報提供	○	○	○	健康相談	健康、食事、生活習慣病に関する相談に対して、電話や面接による助言。 ①健康電話相談 243日 209件 ②保健栄養相談 9件 ③出前健康相談 19回 574件	・健康電話相談 243日 209件 ・保健栄養相談 9件 ・出張健康相談 19回 574件	継続	—	市報すいたで事業周知	成人保健課			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	スポーツ施設(プール、スポーツグラウンド、市民体育館、武道館、総合運動場)等の開放	○	○	○	青少年交流支援事業(夢つながり未来館の多目的ホール開放)	スポーツを通して、青少年同士の交流を深め、体力向上を目指す。	第2、第4水曜日に多目的ホールを開放。卓球やプラズマカーを通じ、青少年同士の交流を図った。	継続	—	—	青少年室			
p.104	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ 就労世代	スポーツ施設(プール、スポーツグラウンド、市民体育館、武道館、総合運動場)等の開放	○	○	○	オーバス・スポーツ施設情報システム	コンピューターシステムにより、24時間体制で施設の予約・申請を可能にする事で、利用者の利便性を図る。	回答なし	継続	—	—	文化スポーツ推進室			

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)【分野3 動く・出かける】

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代								
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代	フレイル予防のための運動の動画やちらし等を活用した周知啓発	○	○	○	(再掲) 30歳代健診 特定健診フォローアップ事業 健康情報拠点推進事業	資料を用いて、若い頃から運動習慣を持つことやフレイル予防の啓発を実施。また、吹田市国保健康診査受診者で特定保健指導対象外の方や、30歳代健診受診者のうち、血圧や血糖値が高めの方に対し、受診勧奨をすることも、食事や運動等の保健指導を実施。	フレイル予防のリーフレットに運動に関する内容を記載し、成人保健課事業対象者に配布する等活用した。	継続	—	—	成人保健課	
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代	健康教室や保健指導の場等を活用した情報提供やイベントの実施			○	すいた笑顔(スマイル)体操の普及	スポーツ教室、公民館講座、市民体育祭、高齢者スポーツ大会、障がい者体育祭他、準備体操として実施。また、職員の健康管理の観点から運動へのきっかけづくりをするため、職場で昼休みに実施。	ひろばde体操 21会場 730回 21,630人	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。 地域包括支援センターからの周知。	高齢福祉室	
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代	健康教室や保健指導の場等を活用した情報提供やイベントの実施	○	○	○	介護予防健康体操教室	介護予防に繋がる健康体操教室を通年にわたり開催	介護予防健康体操教室 40回実施 延べ参加人数 2,098人	継続	—	市報すいた、ホームページ等で周知	交流活動館	
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代	健康教室や保健指導の場等を活用した情報提供やイベントの実施			○	高齢者スポーツ教室	高齢者が積極的に各人の健康状態に応じて身体を動かし、健康の維持増進を図る。 (ニュースポーツ、筋力・バランス感覚の向上)	回答なし				文化スポーツ推進室	
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代	大ホール施設、ジム、スポーツグラウンド、市民体育館、武道館、総合運動場等の利用促進		○	○	(再掲) オーバス・スポーツ施設情報システム	コンピューターシステムにより、24時間体制で施設の予約・申請を可能にする事で、利用者の利便性を図る。	回答なし				文化スポーツ推進室	
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代	いきいき百歳体操やひろばde体操等、身近な場所で運動できる場への支援			○	街かどデイハウス事業補助事業	おおむね65歳以上で介護予防を必要とする方を対象に、食事や健康チェック、レクリエーション等を実施する団体に対し運営費等を助成する。	街かどデイハウス 7団体 補助金額 計 39,163,277円	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。	高齢福祉室	
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代	いきいき百歳体操やひろばde体操等、身近な場所で運動できる場への支援			○	介護支援サポーター事業	特別養護老人ホーム等受入施設において、傾聴等のさまざまなサポート活動を行うことに対してポイントを付与し、ポイントを換金。高齢者が介護支援サポーター活動に参加することで、健康づくりをはじめとした介護予防等を推進し、高齢者が要介護状態になることを予防する。	介護支援サポーター養成講座 3回講座×6 ポイント交付者 26人 交付ポイント数 1554ポイント	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。 公共施設へのチラシの配布。 社会福祉協議会からの周知。	高齢福祉室	
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代	いきいき百歳体操やひろばde体操等、身近な場所で運動できる場への支援			○	ひろばde体操	介護予防推進員等の運営ボランティアが中心となって、週1回身近な公園等で、吹田はつらつ体操(はつらつストレッチ、はつらつマーチ、吹田スマイル体操)を実施。体操を実施する運営ボランティアに、ワイヤレススピーカー・マイクロSDカード・ベスト・名札を貸与。	ひろばde体操 21会場(新規4会場) 730回 21,630人	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。 地域包括支援センターからの周知。	高齢福祉室	
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代	いきいき百歳体操やひろばde体操等、身近な場所で運動できる場への支援			○	住民主体の集い(通い)の場 「いきいき百歳体操」	週に1回、3か月以上継続しておもりを使った筋力トレーニング「いきいき百歳体操」の実施を希望する団体、グループに対しておためし講座、活動支援講座、フォロー講座を実施する他、DVD貸与、おもりを準備するまでの期間、おもり等の貸与を実施。身体機能の維持・向上や、高齢者が主体的に地域づくりに参画することを目指す。	おためし講座 12回160人 活動支援対象 163グループ 2,231人 活動支援講座 延べ45回 フォロー講座 延べ171回 ステップアップ講座 延べ142回	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。 地域包括支援センターからの周知。	高齢福祉室	
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代	いきいき百歳体操やひろばde体操等、身近な場所で運動できる場への支援			○	はつらつ体操教室	週1回、3か月間通所し、介護予防について総合的・集中的に学び、教室終了後、地域と関わりながら地域の中で介護予防を継続して実践できる高齢者を増やすことを目的とする。 毎回筋力トレーニングを行う他、ストレッチ等の体操、健口体操、月1回保健師による介護予防に関する講座を実施。	はつらつ体操教室 24コース 272回 延 1,993人参加	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。 地域包括支援センターからの周知。	高齢福祉室	
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 工 全世代	運動やスポーツを推進する人材の支援	○	○	○	スポーツ関係団体育成事業	社会体育関係団体の指導者養成・育成を図る	社会体育リーダー協議会【役員研修会】を開催 参加者数36人 1回実施	継続	—	—	文化スポーツ推進室	
p.105	3動く・出かける	2自分ができる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1)ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 工 全世代	「観る」スポーツ普及のための取組	○	○	○	Panasonic Stadium Suita等、スポーツ施設でのスポーツ観戦	スポーツを観る機会を増やし、運動への興味・関心につなげる。	回答なし	継続	—	—	文化スポーツ推進室	

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)【分野4 眠る・癒す】

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代								
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ア 次世代	妊産婦への産前産後 ケアの取組	○	○		産婦健康診査	産後2週間頃と1か月頃の計2回、産婦健康診査でこころの健康チェック を行い、産後うつを早期に発見し、産後早期から必要な支援につなげる。	産婦健康診査の延べ受診者数 5,292 人	継続	—	—	母子保健課	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ア 次世代	妊産婦への産前産後 ケアの取組	○	○		産後ケア事業	家族等から家事や育児の協力を十分得られず、育児不安や育児負担感 がある産婦(産後1年未満)とその児に対し、医療機関等において心身のケア や育児のサポート等のきめ細かい支援を実施、また、産婦に休養の機会を 提供する。	令和4年度より対象者を産後2か月から 産後1年未満まで拡充した。 宿泊型 利用実人数 148人 延利用日数 723日 デイサービス型 利用実人数 98人 延利用日数 390日	継続	—	—	母子保健課	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ア 次世代	妊産婦への産前産後 ケアの取組	○			産前・産後サポート事 業 (助産師の継続派遣)	育児不安や産後うつなどの支援が必要な妊産婦を対象に妊娠中に1回、 産後最大4回まで助産師が継続的に訪問し、妊産婦の不安や悩み等の軽 減を図りサポートする。	助産師の継続訪問人数 妊婦 4人 産婦 795人	継続	—	—	母子保健課	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ア 次世代	妊産婦への産前産後 ケアの取組	○	○		産前・産後サポート事 業 (「ゆったりスペース」 から「たまびよテラス」 へと事業を変更した) 【令和4年度より開始】	育児に自信がなく不安強い等の妊婦及び産後1年未満の母子に対し、交 流・相談及びファミリーテーター講師によるフリートークの場を提供する。	妊娠届の内容からフォロー割合の高い内 容をテーマとして選定。2会場で各月1回 実施。(令和4年度は計23回実施)	継続	—	—	母子保健課	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ア 次世代	乳幼児期からの健や かなこころの成長発達 を促す保育、教育	○			親子教室、交流会	生後2か月の乳児から就学前の幼児まで、それぞれの子どもが興味・関心 を持って楽しく遊べるように、館内の設備や遊具を整備 また、年齢や月齢に合わせた親子教室などを開催し、人と関わって遊ぶ楽 しさを感じてもらえるようにする。	新型コロナウイルスの感染症拡大防止の 対策を取りながら、児童が楽しんで遊べ るように、館内の設備や遊具の配置を工 夫した(常時) 親子教室等実施回数 300回	継続	—	—	のびのび子 育てプラザ	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ア 次世代	乳幼児期からの健や かなこころの成長発達 を促す保育、教育	○			通園療育 親子(療育)教室	主に発達に課題のある就学前の児童を対象とした杉の子学園、主に肢体不自由 のある就学前の児童を対象としたわかたけ園で、園での生活や遊 びを通しての療育や訓練を実施。 就学前の親子療育教室を実施。 1歳半健診の事後フォローとしてバンビ親子教室を実施。	主に発達に課題のある就学前の児童を 対象とした杉の子学園、主に肢体不自由 のある就学前の児童を対象としたわか たけ園で、療育や訓練を実施。(杉の子 学園、わかたけ園) 1歳半健診の事後フォローとしてのバン ビ親子教室、就学前の親子療育教室を 実施。こどもの成長発達を促す保育の 提供や保護者支援を実施(地域支援セ ンター)	拡充	各親子教室(コアラ以外)の受入 数拡充	母子保健課との連携 おひさま相談後のフォロー内容として実 施 専門職との連携	杉の子学園 わかたけ園 地域支援セ ンター	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ア 次世代	乳幼児期からの健や かなこころの成長発達 を促す保育、教育	○	○		育児教室	すべての子どもを健やかに育てる視点から、育児教室を保健センターと 共催で実施しています。育児の疑問や不安が多い乳幼児期や、子どもの自我 が育ち親も戸惑う2歳前後の時期に、子どもと保護者を対象に、保育所な どで、親子遊びや子どもの発達、接し方など具体的に伝え、子育ての指 導・援助を行う。子育ての悩みを共有できる仲間をつくり、孤立した子育 てにならないよう支援。	育児教室は、コロナ禍のため未実施。コ ロナの感染状況が少ない時期に地域支 援行事を実施。就学前児童をもつ保護者 を対象に、遊びの紹介や子育て相談に 応じ、仲間づくりにつながるよう支 援しています。今年度から、育児教室に ついては、母子保健課との共催ではな く、保育所等で行います。ニーズが多 い0歳児、1歳児を対象年齢として、 子育ての悩みを共有できる仲間をつ くり、孤立した子育てにならないよう 支援していきます。	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ア 次世代	学齢期の子供の居場 所づくり	○			青少年活動サポート プラザ交流活動支援事業	青少年が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに、その 成長又は発展に応じた支援を行うことを目的に事業を実施。	青少年の学びの場としての学習室の運 営、自立や社会参画を促すことを目的 とした居場所づくりや青少年の自主 的な活動の支援、各種イベントの企 画運営を行った。青少年が年代を超 えた様々な人々との交流をとおして、 自己肯定感や主体性、責任感等の成 長が見られるなど、成果をあげること ができた。	継続	—	—	青少年室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ア 次世代	学齢期の子供の居場 所づくり	○			不登校児童・生徒支援 事業	心的な要因で学校に行くことができない児童・生徒を対象に、教育セン ター及び吹田市自然体験交流センターで「光の森」活動を、竹見台多目的 施設では「学びの森」活動を行い、社会的自立・学校復帰を支援。 また、外出することが困難な児童・生徒を対象にフレンド(学生ボランティア) が家庭訪問活動を行い、外出できるよう支援。	令和4年度の「光の森」「学びの森」正 式入室は45名、体験入室は29名で あり、正式入室後1日でも学校へ登 校できた学校復帰率は71.1%であ った。家庭訪問活動は3名実施した。	継続	—	—	教育センター	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	こころの健康維持のた め、健康的な生活習慣 や、セルフコントロール などの知識の普及 啓発	○	○		各種健康診査	生活習慣病の予防・改善のために、①30歳代健康診査、②生活習慣病予 防健診、③健康長寿健診を実施。 自分自身の健康管理への関心をもち、生活を振り返ることで生活習慣を 改善し、生活習慣病予防につなげる。 検診受診時に受診者に配布するリーフレットや、医師による結果説明時 に、適度な運動やバランスのとれた食生活、十分な睡眠による休養などの 情報提供等とおして、身体だけでなくこころの健康づくりについて啓 発。	①30歳代健康診査受診者数 1,256 人 ②生活習慣病予防健診受診者数 691 人 ③健康長寿健診 16,101人	継続	—	通年で市内協力医療機関で個別健診と して実施することで、受診しやすい 体制を確立。 知っておきたい健(検)診を作成して 全戸配布し、健康無関心層を含めて 事業周知を実施。	成人保健課	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	こころの健康維持のた め、健康的な生活習慣 や、セルフコントロール などの知識の普及 啓発	○	○		特定保健指導	吹田市国保健康診査、吹田市生活習慣病予防健康診査の受診者のうち、 特定保健指導判定において「動機づけ支援」「積極的支援」と判定され た方に実施している特定保健指導において、睡眠の大切さやストレス対処 など心の健康づくりのポイントを伝え支援。	動機づけ支援利用者数 937人 積極的支援利用者数 63人	継続	—	動機づけ支援について、市内協力 医療機関で利用できる体制を確立。 積極的支援については、土曜日の 利用やオンライン利用に対応。	成人保健課	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	労働者のワーク・ライ フ・バランスやメンタ ルヘルス対策の推進	○			啓発事業	長時間労働の抑制など、ワークライフバランスをはじめとする働き方改 革やメンタルヘルスについての啓発を実施。	ワークルールセミナーにおいて働き 方改革をテーマとしたセミナーを 実施。	継続	—	—	地域経済振 興室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	労働者のワーク・ライ フ・バランスやメンタ ルヘルス対策の推進	○			こころの健康相談及び 普及啓発	こころの健康相談において、職員及び嘱託医が個別相談に応じます。ま た、保健所ホームページへの情報掲載や、自殺対策予防週間や自殺対策 強化月間等に本庁舎ロビーにおいてこころの健康に関するパネル展示や リーフレット配架する。その他、市報や市の公式SNSで情報発信を行う。	こころの健康相談において延3,576 件の相談に応じた。その他、啓 発週間等における市役所ロビー 展示、SNS等での情報発信、こ ころの体温計を導入した。	継続	—	自身のこころの健康をインターネット で手軽にセルフチェックできる こころの体温計を新たに導入した。	地域保健課	

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)【分野4 眠る・癒す】

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代								
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	労働者のワーク・ライ フ・バランスやメンタ ルヘルス対策の推進		○		地域職域連携推進事業 (健康経営の推進)	地域・職域連携会議を活用し、市内の事業者を対象に健康経営の推進を行 う。	地域職域連携推進会議を2回開催 健康すいた21(第3次)の分野から、今後 本会議で取り組みたい分野を話し合っ た。	継続	—	—	健康まちづく り室	地域経済振 興室
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	ファミリー・サポート・ センター	地域における育児の援助を行うことができる市民と育児の援助を受け たい市民をファミリー・サポート・センターの会員として組織し、会員相互の 育児に関する援助活動を行う。	援助活動件数 3,732件	継続	—	—	のびのび子 育てプラザ	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	子育てサークル	東山田保育園の育児教室終了後、子育てサークルを立ち上げ、親同士を 繋げる。また、親が自主的に活動が継続できるよう支援。	東山田保育園の育児教室終了後の、新た なサークル設立には至らなかった。 のびのび子育てプラザのサークル交流室 貸出件数は、25回	継続	—	—	のびのび子 育てプラザ	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	親子教室、交流会	就学前の乳幼児と保護者を対象に、親子あそびや交流会を開催。子育て の悩みを共有できる仲間をつくり、孤立した子育てにならないよう支援。	親子教室等実施回数 300回	継続	—	—	のびのび子 育てプラザ	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○		保護者参加行事 わかたけ園単独通園 親子(療育)教室	保育参加・クラス交流会・懇談会・学習会など子供の姿を知り一緒に考え ていく機会を作り、保護者同士をつなげていく場になっています。 親子通園施設であるわかたけ園では、5歳児の単独通園をしており、介助 負担軽減にもつながっている。 親子(療育)教室では、育児の不安や悩みの相談をはじめ、保護者がつな がる交流の場を設定。	親子(療育)教室では、発達や育児に関 する相談を行い、発達に関する学習会を 実施。ハンビ親子教室卒園児対象の相談 会を実施(地域支援センター) クラス交流会、懇談会、保護者学習会を 実施。(杉の子学園、わかたけ園)	継続	—	—	地域支援セン ター 杉の子学園 わかたけ園	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	園庭・ホール開放	地域の親子が、保育園の施設を気軽に立ち寄り、親子で遊べる場所を提 供。また、他の親子と交流する中で仲間づくりの場になり、地域担当保育 士や専門職員に育児の相談などできる場にもなっている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のた め、例年通りは実施できていない。	継続	—	—	子育て政策 室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	子育てサークル	保育園の育児教室終了後、子育てサークルを立ち上げ、親同士を繋げて います。また、親が自主的に活動が継続できるよう支援。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のた め、例年通りは実施できていない。	継続	—	—	子育て政策 室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	子育て広場	子育て中の親の育児への負担感を緩和するため、乳幼児とその親が 気軽に集い、交流し、子育ての喜びや楽しみを共有できる「子育て広場」を 設け、子育てに関する相談や子育て支援に係る事業を行う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のた め、例年通りは実施できていない。	継続	—	—	子育て政策 室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	子ども見守り家庭訪問 事業	民生・児童委員、主任児童委員が、市内の生後4か月までの乳児のいる家 庭を訪問し、子育てに関する相談や情報提供、乳児及び保護者の心身の 様子や養育環境の把握を行う。	訪問件数 2347件	継続	—	市内の生後4か月までの乳児のいる家庭 全てにアプローチ	家庭児童相 談室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	育児支援家庭訪問事業	育児等に悩みや困難を抱え、孤立しがちな家庭に対し、育児支援家庭訪問 員が訪問し、養育における指導や助言のほか、子育て情報の案内を行う。	訪問件数 11件	継続	—	支援が必要な家庭について利用を案内	家庭児童相 談室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	家庭児童相談	児童虐待をはじめとする家庭児童相談に対する相談対応と児童虐待防止 に係る啓発を行う。	家庭児童相談件数 2,017件 児童虐待防止・子育て支援講演会の開催 参加人数 16名	継続	—	関係機関と連携、情報共有	家庭児童相 談室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	子育て短期支援事業	ショートステイ:保護者の病気、出産、仕事などで一時的に家庭での児童の 養育ができなくなった時などに、児童養護施設等で原則7日以内で預か る。 トワイライトステイ:保護者が仕事などで帰宅が遅い、または休日の不在の ため、児童の生活指導、家事が困難な時に児童を児童養護施設等で午後 8時まで預かる。	ショートステイ利用者数 34人	継続	—	支援が必要な家庭について利用を案内	家庭児童相 談室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	園庭・ホール開放	地域の親子が、保育園の施設を気軽に立ち寄り、親子で遊べる場所を提 供。また、他の親子と交流する中で仲間づくりの場になり、地域担当保育 士や専門職員に育児の相談などできる場にもなっている。	地域開放行事で、子育て相談等を実施。 電話相談も随時実施。	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	子育てサークル	保育園の育児教室終了後、子育てサークルを立ち上げ、親同士を繋げる。 また、親が自主的に活動が継続できるよう支援。	子育てサークルの活動は、コロナ禍で ほとんど行えませんでした。電話相談 や来所で相談に応じられるようにしまし た。	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	(再掲) 育児教室	すべての子どもを健やかに育てる観点から、育児教室を保健センターと 共催で実施しています。育児の疑問や不安が多い乳児期や、子どもの自我 が育ち親も戸惑う2歳前後の時期に、子どもと保護者を対象に、保育所な どで、親子遊びや子どもの発達、接し方など具体的に伝え、子育ての指 導・援助を行っている。子育ての悩みを共有できる仲間をつくり、孤立し た子育てにならないよう支援。	育児教室は、コロナ禍のため未実施。コ ロナの感染状況が少ない時期に地域支援 行事を実施。就学前児童をもつ保護者を 対象に、遊びの紹介や子育て相談に応 じ、仲間づくりにつながるよう支援し ています。今年度から、育児教室につい ては、母子保健課との共催ではなく、保 育所等で行います。ニーズが多い0歳児、1 歳児を対象年齢として、子育ての悩みを 共有できる仲間をつくり、孤立した子育 てにならないよう支援していきます。	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.113	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 イ 就労世代	子育て世代に対する 育児不安や負担軽減 への支援		○	○	妊産婦・乳幼児訪問指 導事業	妊娠届や妊産婦健康診査、医療機関からの連絡、乳幼児健康診査等から 支援が必要な妊産婦等に保健師等が訪問し、育児の不安や負担の軽減を 図る。	訪問延人数 妊婦 93人 産婦 2830人 幼児の保護者 609人	継続	—	—	母子保健課	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ウ 高齢世代	高齢者の交流の場、孤 立させないための支 援			○	ふれあい昼食会事業補 助事業	(福)吹田市社会福祉協議会において、高齢者の孤食を防止し外出の機 会を確保するとともに、地域住民の交流促進を図ることを目的として、一 人暮らしの高齢者(70歳以上)を対象に、市内33の地区福祉委員会が実 施するふれあい昼食会に対し、補助金を交付する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のた め、各地区において「ふれあい外出配食」 を実施。 開催回数:335回 参加人数:13,489人	継続	—	地区福祉委員による継続的な声掛けや市 報等の各種媒体を活用した情報発信。	福祉総務室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ウ 高齢世代	高齢者の交流の場、孤 立させないための支 援		○	○	ふれあい交流サロン補 助事業	高齢者と世代が異なる市民が気軽にふれあい、交流できる場を設ける団 体に補助金を交付。	実施数:11か所 延べ利用者数:33,875人	拡充	補助対象経費に「報償費(スタッ フ謝礼)」を追加。	—	高齢福祉室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ウ 高齢世代	高齢者の交流の場、孤 立させないための支 援			○	いきがい教室開催事業	高齢者が初歩的な趣味教室への参加を通じて生きがいを高め、友達の輪 を広げ、その生活を健康で豊かなものにするを目的とする。	60歳以上の市民を対象に20科目の教 室を開催。 延べ受講者数:4,649人	継続	—	—	高齢福祉室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ウ 高齢世代	高齢者の交流の場、孤 立させないための支 援			○	高齢者関係団体用福祉 パス貸付事業	高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。	貸付台数:93台 利用者数:3,284人	継続	—	—	高齢福祉室	

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)【分野4 眠る・癒す】

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代								
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ウ 高齢世代	高齢者の交流の場、孤 立させないための支 援			○	高齢者友愛訪問事業	寝たきり高齢者やひとり暮らし高齢者等を対象に声かけし孤独感を解消 するとともに、みんなで集まって作成した手づくり品を持参することで、 訪問する側の介護予防と生きがいを高める。	訪問対象件数:3,933件 延べ訪問件数:49,494件	継続	—	—	高齢福祉室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ウ 高齢世代	高齢者の交流の場、孤 立させないための支 援			○	介護支援サポーター事 業	特別養護老人ホーム等受入施設において、傾聴等のさまざまなサポート 活動を行うことに対してポイントを付与し、ポイントを換金。高齢者が介護 支援サポーター活動に参加することで、健康づくりをはじめとした介護予 防等を推進し、高齢者が要介護状態になることを予防する。	介護支援サポーター養成講座 3回講座× 6 ポイント交付者 26 人 交付ポ イント数 1554ポイント	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。 公共施設へのチラシの配布。 社会福祉協議会からの周知。	高齢福祉室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ウ 高齢世代	高齢者の交流の場、孤 立させないための支 援			○	認知症サポーター養成 事業	認知症への理解を広げる啓発事業として認知症サポーターの養成に取り 組むとともに、認知症サポーター養成講座受講後のフォローアップ研修の 開催や、研修終了後に認知症サポーター交流会を開催することで、サポ ーター間のネットワークづくりやサポーターの地域活動支援を行う。	認知症サポーター養成講座:42回、952 人 年度未累計数:28,386人 ステップアップ研修:90人	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。 地域包括支援センターからの周知。	高齢福祉室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ウ 高齢世代	多世代交流など地域 における市民のつな がりを生み出す取組			○	地域支えあいネット ワーク推進事業	市内6ブロックごとにコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の総 合相談・支援のためのネットワークを構築。様々な悩みや課題を抱える高 齢者、障がい者やその家族、ひとり親家庭等に対し各種支援を行う。 また、ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア活動を推進。 ※(福)吹田市社会福祉協議会への委託事業	コミュニティソーシャルワーカーへの相談 件数:521件(実件数)	継続	—	地域住民同士のつながりが希薄化する 中、市民が気軽に相談できるよう、機会を 捉えてコミュニティソーシャルワーカーの 認知度をあげる啓発を実施する。	福祉総務室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ウ 高齢世代	多世代交流など地域 における市民のつな がりを生み出す取組			○	市立保育園の園行事 開放及び高齢者施設等 への訪問	園行事(敬老のつどい、もちつき、正月遊び等)に地域住民と一緒に参加し て遊ぶ、会話するなどの交流をしている。また園児が高齢者施設等に出向 き、ふれあい遊びやゲームなどとして交流をしている。	コロナ禍で感染拡大防止のため、園行事 開放、高齢者施設訪問は行っていま せん。	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 ウ 高齢世代	多世代交流など地域 における市民のつな がりを生み出す取組			○	市立幼稚園の園行事 開放及び高齢者施設等 への訪問	施設に園児が訪問し歌や体操、ダンスを入所(または利用)者に披露して います。また手遊びやふれあい遊び、ゲーム、クイズなどを一緒にに行い交 流をしている。	コロナ禍で感染拡大防止のため、園行事 開放、高齢者施設訪問は行っていま せん。	継続	—	—	保育幼稚園 室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 工 全世代	こころの健康維持のた め、健康的な生活習慣 や、セルフコントロー ルなどの知識の普及 啓発			○	健康教育	生活習慣病予防やその他健康に関する内容で実施をする健康教育や出前 講座等において、適度な運動やバランスのとれた食生活、十分な睡眠によ る休養などの情報提供等とおして、身体だけでなくこころの健康づくり について啓発支援する。	・市民健康教室 2回 79人 「脂質異常症」「睡眠」をテーマに実施し、 心の健康づくりについても啓発。	継続	—	駅や商業施設等において、ポスターを掲 示し、市民健康教室等の周知を図る。 LINEやSNSを活用した開催案内の実 施。	成人保健課	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 工 全世代	こころの健康維持のた め、健康的な生活習慣 や、セルフコントロー ルなどの知識の普及 啓発			○	こころの健康に関する 普及啓発	保健所ホームページにおける情報掲載やリーフレット配架により普及啓発 を行う。また、自殺対策予防週間や自殺対策強化月間等に、本庁舎ロビー においてこころの健康に関するパネル展示やリーフレット配架を行いま す。その他、市報や市の公式SNSで情報発信を行う。	こころの健康相談において延3,576件 の相談に応じた。その他、啓発週間等 における市役所ロビー展示、SNS等での情 報発信、こころの体温計を導入した。	継続	—	自身のこころの健康をインターネットで手 軽にセルフチェックできるこころの体温計 を新たに導入した。	地域保健課	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 工 全世代	広く市民が参加でき る啓発イベントの開催			○	ハートふれあい祭り	精神保健福祉に対する市民啓発を目的とした、子どもから大人まで楽し める祭りを開催。	精神保健福祉に対する市民啓発を目的 とした、子どもから大人まで楽しめる祭 りを開催。	継続	—	—	障がい福祉 室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 工 全世代	障がい者・児への各種 サービス提供、活動・ 交流の場の紹介			○	地域活動支援センター	地域において自立した生活を営むことができるよう、創作活動等の場の 提供、社会との交流の促進、日常生活又は、社会生活に必要な便宜の供与 等、困りごとの相談から居場所作りを実施。	地域において自立した生活を営むことが できるよう、創作活動等の場の提供、社 会との交流の促進、日常生活又は、社会 生活に必要な便宜の供与等、困りごとの 相談から居場所作りを実施。	拡充	地域活動支援センターの設置数 を2箇所から3箇所へ増加する。	—	障がい福祉 室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 工 全世代	市民が安心や癒しが 得られるような生活環 境の提供			○	健康づくり活動推進事 業	市民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援できるよう、健康啓発イベ ントや講習会を(公財)吹田市健康づくり推進事業団と実施します。	「休養に関する健康講座」を開催。参加人 数55人。 「ロコモティブシンドローム予防教室」を 開催。参加人数27人。	継続	—	—	健康まちづく り室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 工 全世代	市民が安心や癒しが 得られるような生活環 境の提供			○	健都レールサイド公園 及び健都ライブラリー 指定管理事業	公園内に立地するライブラリーの利点を活かして読むスポーツの推進、健康 無関心者への行動変容を図るプログラムの実施のほか、3つの広場、2 7基の健康遊具を有する公園と、ライブラリーのサービス提供が常に円滑 に行うことができるように、施設および設備の機能、性能を確保する維持 管理業に取り組む。	ライブラリー内の健康応援コーナーに血 圧計と体組成計を設置し、測定後の結果 に対するアドバイスを行った。健康に関 するテーマを毎月設定し、関連する展示物 を展示するなど啓発を行った。 1日2回の巡回時に植栽や遊具の管理、 点検を行うほか、専門家による定期点検 を行い、必要に応じて補修も行ったこと で、安全で清潔な公園、ライブラリーを維 持している。	継続	—	健都レールサイド公園と健都ライブラリー は、健康に「気づき」、「楽しみ」ながら「学 べる」を3つの柱として整備しており、強 度の異なる複数の運動プログラムや生涯 学習講座などを多数実施している。	健康まちづく り室 健都ライブラ リー	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 工 全世代	市民が安心や癒しが 得られるような生活環 境の提供			○	介護予防事業 はつらつ元気手帳の普 及を通じたセルフマネ ジメントの啓発	介護予防教室、講演会、通いの場等参加者にははつらつ元気手帳を配付し、 生きがいづくり等を含めたセルフマネジメントについて啓発を行う。	はつらつ元気手帳配付数 1,539冊	継続	—	市報すいた・ホームページへの掲載。 地域包括支援センターからの周知。	高齢福祉室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 工 全世代	市民が安心や癒しが 得られるような生活環 境の提供			○	道路新設改良事業	安全で快適な交通環境を整備することにより、社会生活の利便性や安全 性の向上を図る。	・穂波芳野線ほか5路線のバリアフリー整 備を実施。	継続	—	—	道路室	
p.114	4眠る・癒す	1自分に合った方法で こころの健康を保つ	(1)こころの健康を保つため の取組の推進 工 全世代	市民が安心や癒しが 得られるような生活環 境の提供			○	図書館運営事業、図書 館主催事業	読書に親しみ、定期的に図書館を利用する事で、体の健康だけでなく、豊 かで充実したこころの健康も支えられるよう、資料・情報の提供や、各種 講座の開催を通じて、読書活動や生涯学習の推進、図書館の利用向上に 繋がる取組を行う。	・市民の興味関心に応える関連資料の特 設コーナーを各館で定期的に設置。 ・子供向け行事や、障がい者サービスの 実施に当たっては、多くのボランティア団 体に協力をいただき、それらの活動を通 じ、ふれあいや交流が生まれている。	継続	—	—	中央図書館	
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期 に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓 発 ア 次世代	妊産婦の不安や悩み に対する各種相談、支 援			○	妊産婦相談支援事業 (プレママ産後ママ相 談)	妊娠、出産・育児の不安や悩みに助産師等が面接や電話で相談に応じ、産 前産後のサービスの情報提供や保健指導を行い、育児の不安や負担感の 軽減を図る。	・プレママ産後ママ相談 面接 416人 電話・メール 1,378人	拡充	—	—	母子保健課	
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期 に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓 発 ア 次世代	妊産婦の不安や悩み に対する各種相談、支 援			○	(再掲) 産前・産後サポート事 業 (助産師の継続派遣)	育児不安や産後うつなどの支援が必要な妊産婦を対象に妊娠中に1回、 産後最大4回まで助産師が継続的に訪問し、妊産婦の不安や悩み等の軽 減を図りサポートする。	助産師の継続訪問人数 妊婦 4人 産婦 795人	継続	—	—	母子保健課	

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)【分野4 眠る・癒す】

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課	
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代									
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 次世代	妊産婦の不安や悩みに対する各種相談、支援	○			(再掲) 産前・産後サポート事業 (たまびよテラス) 【令和4年度より開始】	育児に自信がなく不安強い等の妊婦及び産後1年未満の母子に対し、交流・相談及びファシリテーター講師によるフリートークの場を提供する。	妊産婦の内容からフォロー割合の高い内容をテーマとして選定。2会場で各月1回実施。(令和4年度は計23回実施)	継続	—	—	母子保健課		
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 次世代	妊産婦の不安や悩みに対する各種相談、支援	○	○		(再掲) 産後ケア事業	家族等から家事や育児の協力を十分得られず、育児不安や育児負担感がある産婦(産後1年未満)とその児に対し、医療機関等において心身のケアや育児のサポート等のきめ細かい支援を実施、また、産婦に休養の機会を提供する。	妊産婦時や、新生児訪問等の産後面談で妊産婦に情報提供。令和4年度より対象者を産後2か月から産後1年未満まで拡充した。 宿泊型 利用実人数 148人 延利用日数 723日 デイサービス型 利用実人数 98人 延利用日数 390日	継続	—	—	母子保健課		
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 次世代	小・中学生への各種教育、相談、支援	○	○		青少年相談	子ども・若者総合相談センター(ぶらっとるーむ吹田)として、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子供・若者(39歳まで)及びその家族に対し、相談員が関係機関と連携しながら、個別面談やアウトリーチ支援(訪問支援)を行い、自立を支援しています。	子ども・若者育成支援推進法に基づく子ども・若者総合相談センター(ぶらっとるーむ吹田)として、相談を実施した。令和4年度の新規相談件数は348件となっている。相談内容が複雑化・複合化し、一つの機関だけでは解決できない課題が増加しているため、子ども・若者支援地域協議会を活用し、連携した支援を実施した。令和4年度に、社会参画につながったケースは93件となった。	継続	—	—	青少年室		
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 次世代	小・中学生への各種教育、相談、支援	○			教育相談	不登校、学習・発達、友人関係、いじめ、進路・就学、情緒・行動など、子どもに関する相談に教育相談員(臨床心理士)が対応します。	令和4年度の相談件数は、来所相談が4,534件、電話相談が219件であった。	継続	—	—	教育センター		
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 次世代	小・中学生への各種教育、相談、支援	○			SC・SSWの配置	生活アンケートや面談等、様々な側面から家庭生活における児童・生徒の実態や背景を把握する。相談が必要な児童・生徒には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家が対応し、個々の状況に応じた適切な支援につなげる。	スクールソーシャルワーカーが支援を行った児童・生徒は相談や面談・情報提供等、スクールソーシャルワーカーが児童・生徒へ直接支援を行った回数は927件	継続	—	不登校児童の健康状態も含めた情報収集やケース会議でのアセスメント・プランニングを行う。	学校教育室		
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 就労世代	乳幼児期の子供を持つ保護者に対する不安や悩みの各種相談・支援	○			子育て相談	子育てコンシェルジュが、子育てに関する疑問や不安を抱えている子育て家庭に対し、保健センターなど関係機関と連携をとりながら育児相談を実施し、育児負担の軽減、虐待防止に繋げる。	相談件数 1,346件	継続	—	—	のびのび子育てプラザ		
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 就労世代	乳幼児期の子供を持つ保護者に対する不安や悩みの各種相談・支援	○			子育て相談	地域担当保育士が中心になり、子育てに関する疑問や不安を抱えている子育て家庭に対し、保健センターなど関係機関と連携をとりながら育児相談を実施し、育児負担の軽減、虐待防止に繋げています。	対面や電話などで随時相談を行っている。	継続	—	—	子育て政策室		
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 就労世代	乳幼児期の子供を持つ保護者に対する不安や悩みの各種相談・支援	○			子育て相談	地域担当保育士が中心になり、子育てに関する疑問や不安を抱えている子育て家庭に対し、保健センターなど関係機関と連携をとりながら育児相談を実施し、育児負担の軽減、虐待防止に繋げています。	子育てに関する疑問や不安を抱えている子育て家庭に対し、関係機関と連携をとりながら子育て相談、電話相談等に応じ、育児負担の軽減、虐待防止に繋げています。	継続	—	—	保育幼稚園室		
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 就労世代	乳幼児期の子供を持つ保護者に対する不安や悩みの各種相談・支援	○			外来相談	各専門職が保護者の不安や悩みに応じて相談を受けます。作業療法士が運動や感覚面・生活動作などの相談、言語聴覚士が言葉に関する相談に応じます。	各種専門相談を実施するとともに、保護者と支援者のための講座を開催。こぼの相談会年5回実施(地域支援センター)	拡充	—	おひさま相談(5歳発達相談)を利用した保護者を対象に、毎月1回、その後の支援として「発達支援手帳」を「すいたのーと」の作成	専門職と連携し実施。	地域支援センター	
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 就労世代	乳幼児期の子供を持つ保護者に対する不安や悩みの各種相談・支援	○	○		ひとり親家庭相談 ひとり親家庭就業相談	母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭や専業主婦の方の生活上の悩みの相談、離婚前の相談、貸付金の相談や自立に向けての助言・情報提供を行います。就業支援専門員が、ひとり親家庭や専業主婦の方の職業能力の向上や求職活動等就業についての相談等を行います。	ひとり親家庭の方からの生活上の悩みの相談、離婚前の相談、母子父子専業主婦福祉資金の貸付の相談、就業相談等に対して、必要な助言・情報提供を行いました。	継続	—	—	必要な家庭に必要な支援が届くよう、引き続き母子・父子自立支援員、就業支援専門員の資質の向上や関係機関との連携強化を図ります。	子育て給付課	
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 就労世代	乳幼児期の子供を持つ保護者に対する不安や悩みの各種相談・支援	○			療育相談	通園や外来訓練等にえられる保護者の、生活全般や育児に関する悩みの相談を受けます。悩みに応じて看護師・栄養士が対応します。また、保護者の不安や悩みに沿った学習会や懇談会を企画します。	コロナ禍のため、人数や時間に配慮しながら、交流会や懇談会、学習会を実施。保護者の個別相談を実施。	継続	—	—	保護者同士が交流できる場を提供。	杉の子学園わかたけ園	
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 就労世代	小・中学生の保護者に対し、学校や家庭などに関する悩みの相談	○			就学援助・高等学校等学習支援金等の支給事業	生活困窮の相談に対し、各援助金の申請を促しています。	・支給人数 就学援助費3,949人 高等学校等学習支援金454人	継続	—	—	・学校から申請書を配布し、周知 ・市公式LINEにて周知 ・電子申請にて24時間申請受付	学務課	
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 就労世代	小・中学生の保護者に対し、学校や家庭などに関する悩みの相談	○	○		(再掲) 青少年相談	子ども・若者総合相談センター(ぶらっとるーむ吹田)として、社会生活を円滑に営む上での困難を有する子供・若者(39歳まで)及びその家族に対し、相談員が関係機関と連携しながら、個別面談やアウトリーチ支援(訪問支援)を行い、自立を支援しています。	子ども・若者育成支援推進法に基づく子ども・若者総合相談センター(ぶらっとるーむ吹田)として、相談を実施した。令和4年度の新規相談件数は348件となっている。相談内容が複雑化・複合化し、一つの機関だけでは解決できない課題が増加しているため、子ども・若者支援地域協議会を活用し、連携した支援を実施した。令和4年度に、社会参画につながったケースは93件となった。	継続	—	—	青少年室		
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 就労世代	小・中学生の保護者に対し、学校や家庭などに関する悩みの相談	○			SC・SSWの配置	生活アンケートや面談等、様々な側面から家庭生活における児童・生徒の実態や背景を把握する。相談が必要な保護者には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家が対応し、個々の状況に応じた適切な支援につなげる。	相談や面談・情報提供等、スクールソーシャルワーカーが保護者へ直接支援を行った回数は1482件	継続	—	—	安保護児童対策地域協議会(吹田市児童虐待防止ネットワーク会議)に登録されている児童の保護者に対し、虐待が与える子供の心身の発達への悪影響について、家庭児童相談室等と連携して指導・啓発	学校教育室	
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 就労世代	小・中学生の保護者に対し、学校や家庭などに関する悩みの相談	○			(再掲) 教育相談	不登校、学習・発達、友人関係、いじめ、進路・就学、情緒・行動など、子どもに関する相談に教育相談員(臨床心理士)が対応します。	令和4年度の相談件数は、来所相談が4,534件、電話相談が219件であった。	継続	—	—	教育センター		
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 就労世代	健康相談、健康教室	○	○		健康相談	健康、食事、生活習慣病に関する相談に対して、電話や面接で助言をします。 ①健康電話相談 ②保健栄養相談 ③出張健康相談	・健康電話相談 243日 209件 ・保健栄養相談 9件 ・出張健康相談 19回 574件	継続	—	—	市報すいたで事業周知	成人保健課	

健康すいた21(第3次)進捗確認シート(行政)【分野4 眠る・癒す】

健康すいた21(第3次)における位置づけ					ライフステージ			事業名又は取組名	内容	令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性 (継続、拡充、縮小、廃止等)	拡充、縮小の内容 ※該当の場合のみ入力	重点ターゲットに対する工夫・ アプローチ方法	取組室課	関係室課
掲載 ページ	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	取組	次世 代	就労 世代	高齢 世代								
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 イ 就労世代	健康相談、健康教室		○		(再掲) こころの健康相談及び普及啓発	こころの健康相談において、職員及び嘱託医が個別相談に応じます。また、保健所ホームページへの情報掲載や、自殺対策予防週間や自殺対策強化月間等に本庁舎ロビーにおいてこころの健康に関するパネル展示やリーフレット配架を行います。その他、市報や市の公式SNSで情報発信を行う。	こころの健康相談において延3,576件の相談に応じた。また、必要な方に対して他機関と連携を行った。	継続	—	—	地域保健課	
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 イ 就労世代	労働者への啓発		○		(再掲) 地域職域連携推進事業 (健康経営の推進)	地域・職域連携会議を活用し、市内の事業者を対象に健康経営の推進を行う。	地域職域連携推進会議を2回開催健康すいた21(第3次)の分野から、今後本会議で取り組みたい分野を話し合った。	継続	—	—	健康まちづくり室	地域経済振興室
p.116	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 ウ 高齢世代	健康や生活、介護の悩みなど高齢者への総合相談			○	地域包括支援センターでの総合相談	本人や家族等からの相談をうけ、適切な介護・健康・医療・福祉へつなげる。	総合相談件数 28,774件	(継続)	—	各地域包括支援センターが独自チラシを作成したり、出前講座に取り組み等、あらゆる機会にセンターの周知に取り組んで	高齢福祉室	
p.117	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	こころの健康維持、不調があるときの対応に関する知識を全市民に広く普及するための啓発イベント		○	○	(再掲) ハートふれあい祭り	精神保健福祉に対する市民啓発を目的とした、子どもから大人まで楽しめる祭りを開催します。	精神保健福祉に対する市民啓発を目的とした、子どもから大人まで楽しめる祭りを開催。	継続	—	—	障がい福祉室	
p.117	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	障がい児・者対象の各種相談		○	○	精神保健福祉相談	精神保健福祉に関する相談(電話、面接、訪問)を行います。(予約制)	精神保健福祉に関する相談(電話、面接、訪問)を行う。	継続	—	—	障がい福祉室	
p.117	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	生活困窮、人権擁護、障がい、くらしにまつわる様々な悩みなどへの各種相談			○	生活困窮者自立相談支援事業	生活困窮世帯に対して、自立相談支援事業の実施により支援を行う。	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業を実施	廃止	—	対象者に対し給付案内を送付した。	生活福祉室	
p.117	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	生活困窮、人権擁護、障がい、くらしにまつわる様々な悩みなどへの各種相談			○	多重債務相談	弁護士と司法書士による、サラ金・クレジットなどの借金問題について、債務整理などに関する相談を行っています。	毎月第2木曜日(司法書士)、第4木曜日(弁護士)に実施。相談件数 弁護士 41件、司法書士 22件	継続	—	①健康無関心層(該当なし)	市民総務室	
p.117	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	生活困窮、人権擁護、障がい、くらしにまつわる様々な悩みなどへの各種相談		○	○	法律相談 登記相談 測量相談	【法律相談】 弁護士による、相続・離婚・金銭貸借・交通事故などの民事問題全般に関する相談を行っています。 【登記相談】 司法書士による、相続・売買・贈与などの登記や供託等に関する相談を行っています。 【測量相談】 土地家屋調査士による、新増築・分筆・測量等に関する相談を行っています。	【法律相談】 毎週火・金曜日に実施。相談件数 1,821件。 【登記相談】 毎月第1、第3木曜日に実施。相談件数 108件。 【測量相談】 毎月第3木曜日に実施。相談件数 9件。	継続	—	①健康無関心層(該当なし)	市民総務室	
p.117	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	生活困窮、人権擁護、障がい、くらしにまつわる様々な悩みなどへの各種相談		○	○	①人権相談 ②DV相談	①いじめ、差別、虐待、ハラスメント、プライバシーの侵害など、人権に関する相談に人権擁護委員が対応します。 ②すいたストップDVステーション(DV相談室)の周知に努めます	①人権に関する相談に人権擁護委員が対応。相談件数:6件 ②市関係室課窓口や市内公共施設等へ啓発用パンフレットを設置 ・ホームページ、LINE、Facebook等のSNSで情報発信 ・医師会及び歯科医師会を通じて市内の医療機関へ相談窓口を掲載したチラシと啓発用品を配付	継続	—	—	人権政策室	
p.117	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	生活困窮、人権擁護、障がい、くらしにまつわる様々な悩みなどへの各種相談			○	女性のための相談	【電話相談】 暮らしの中で感じる疑問や生き方など、相談員(女性)がお聞きし、一緒に考えます。 【悩みの相談室】 夫のこと、子供のこと、自分自身のことなどをカウンセラー(女性)と面談し、解決の糸口を探します。 【DV相談】 夫や恋人からの暴力について、カウンセラー(女性)が相談に応じます。 【法律相談】 女性の出会う法律上の問題に、弁護士(女性)が相談に応じます。	【電話相談】770件 【悩みの相談室】149件 【DV相談】96件 【法律相談】44件 それぞれ、上記の相談件数があり、様々な悩みに対応。	継続	—	公共施設へのちらしの配架やSNSを活用した情報発信。	男女共同参画センター	
p.117	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	生活困窮、人権擁護、障がい、くらしにまつわる様々な悩みなどへの各種相談			○	男性のための電話相談	【電話相談】 暮らしの中で感じる疑問や生き方など、相談員(男性)がお聞きし、一緒に考えます。	15件の相談に対応。	継続	—	公共施設へのちらしの配架やSNSを活用した情報発信。	男女共同参画センター	
p.117	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	生活困窮、人権擁護、障がい、くらしにまつわる様々な悩みなどへの各種相談			○	労働相談	賃金・解雇・セクハラ・労災・社会保険などの労働問題全般について弁護士と社会保険労務士が相談に応じます。	労働相談を毎週水曜日に実施(相談件数:91件)	継続	—	—	地域経済振興室	
p.117	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	生活困窮、人権擁護、障がい、くらしにまつわる様々な悩みなどへの各種相談			○	包括的な相談支援体制の構築	令和4年度を期として策定した『第4次吹田市地域福祉計画』における重点施策の1つに、包括的な相談支援体制の構築を掲げ、今後、当該目標達成に向けた具体的な取組を進める。	社会福祉審議会地域福祉計画推進専門分科会において、取組状況について報告した。また、重層的支援体制整備事業実施に向けて、関係室課に対して事業の説明を行った。	拡充	令和7年度の事業実施に向け、重層的支援体制整備事業の検討を行う。	重層的支援体制整備事業のアウトリーチ等による継続支援を活用して支援拒否等のケースを相談支援へ繋げられるような仕組みの検討。	福祉総務室	
p.117	4眠る・癒す	2不調のサインに早期に気づき、対応する	(1)相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	生活困窮、人権擁護、障がい、くらしにまつわる様々な悩みなどへの各種相談		○	○	こころの健康相談	こころの健康相談において、職員及び嘱託医が個別相談に応じます。また、必要に応じて適切な相談窓口につなぎ、切れ目のない支援を行います。	こころの健康相談において延3,576件の相談に応じた。また、必要な方に対して他機関と連携を行った。	継続	—	—	地域保健課	